



茨城県

茨城県景気ウォッチャー調査

(令和2年12月調査分)

《景気の現状判断DI》

	令和2年9月	令和2年12月	前回調査比
茨城県	44.6	41.4	△3.2
県北地域	43.3	44.9	+1.6
県央地域	45.6	38.8	△6.8
鹿行地域	45.6	44.9	△0.7
県南地域	42.5	39.7	△2.8
県西地域	45.8	38.7	△7.1

《景気の先行き判断DI》

	令和2年9月	令和2年12月	前回調査比
茨城県	42.7	38.0	△4.7
県北地域	40.2	36.1	△4.1
県央地域	46.1	39.7	△6.4
鹿行地域	46.1	37.7	△8.4
県南地域	39.5	38.4	△1.1
県西地域	41.7	38.2	△3.5

令和3年1月

茨城県政策企画部統計課

目 次

I	調査の概要	1
II	調査結果の概要	3
1	全県の動向	3
	(1) 景気の現状判断D I	3
	(2) 景気の先行き判断D I	4
2	地域別の動向	5
	(1) 景気の現状判断D I	5
	(2) 景気の先行き判断D I	8
III	景気の判断コメント	11
1	景気の現状判断コメント	11
2	景気の先行き判断コメント	21
3	その他の意見	31

問い合わせ先
茨城県統計課企画分析グループ TEL:029-301-2632
公式サイトのURL
<https://www.pref.ibaraki.jp/kikaku/tokei/fukyu/tokei/betsu/bukka/watch/index.html>

I 調査の概要

1 調査の目的

県内の事業所等において経済の第一線で働いている人々から、景気の現状や景気の先行き判断に関する生の情報を地域ごとに把握するとともに迅速に公表することで、県や市町村のきめ細かな施策立案や経済界におけるタイムリーな景気動向判断等の基礎資料とする。

2 調査の範囲

(1)対象地域

県下全域を対象とする。また、全域を県北、県央、鹿行、県南及び県西の5地域に区分する。なお、各地域に含まれる市町村は以下のとおりである。

地域	市 町 村
県北地域	日立市、常陸太田市、高萩市、北茨城市、ひたちなか市、常陸大宮市、那珂市、東海村、大子町
県央地域	水戸市、笠間市、小美玉市、茨城町、大洗町、城里町
鹿行地域	鹿嶋市、潮来市、神栖市、行方市、鉾田市
県南地域	土浦市、石岡市、龍ヶ崎市、取手市、牛久市、つくば市、守谷市、稲敷市、かすみがうら市、つくばみらい市、美浦村、阿見町、河内町、利根町
県西地域	古河市、結城市、下妻市、常総市、筑西市、坂東市、桜川市、八千代町、五霞町、境町

(2)調査客体

家計動向、企業動向及び雇用動向を敏感に反映する業種に従事する者から、(1)で示した地域ごとに60名、計300名を調査客体とする。

業 種 名	具 体 例	県北地域	県央地域	鹿行地域	県南地域	県西地域	合計
家計関連	小売業、飲食業、サービス業、住宅関連等	37	39	36	36	36	184
企業関連	製造業、建設業、金融業等	19	16	19	19	19	92
雇用関連	人材派遣業、公共職業安定所、求人広告業等	4	5	5	5	5	24
	計	60	60	60	60	60	300

3 有効回答率

地域	調査客体	回答数	回答率
全 県	300 人	282 人	94.0%
県北地域	60 人	54 人	90.0%
県央地域	60 人	58 人	96.7%
鹿行地域	60 人	59 人	98.3%
県南地域	60 人	58 人	96.7%
県西地域	60 人	53 人	88.3%

4 調査事項

- (1) 景気の現状に対する判断（方向性）
- (2) (1) のコメント（理由）
- (3) 景気の先行きに対する判断（方向性）
- (4) (3) のコメント（理由）
- (5) その他景気に関する意見（自由回答）

5 調査月及び調査期間

調査月は6月、9月、12月及び3月の年4回である。令和2年12月調査の調査期間は、令和2年12月4日から20日までである。

6 利用上の注意

- (1) D I (Diffusion Index) は景気の方性（景気が上向きか下向きか）をみるものであり、景気の水準を判断するものではない。
- (2) ウォッチャーの回答構成比は、小数第1位までの表示とし、表示単位未満の端数は四捨五入した。したがって、構成比の合計は100%とならない場合がある。

※DI(Diffusion Index)について

- 1 景気の現状及び景気の先行きに対する判断の回答区分は、以下のとおり5段階としているが、それぞれに点数化し、これらを各回答区分の構成比(%)に乗じて、景気の方性をみるための指標(DI)を算出している。

回答区分	良くなって いる	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪くなって いる
点数	+1	+0.75	+0.5	+0.25	0

- 2 具体例
回答者数100名で、回答内訳が以下の場合。

良くなって いる	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪くなって いる
15名	27名	25名	11名	22名

それぞれの回答構成比は、

良くなって いる	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪くなって いる
15.0%	27.0%	25.0%	11.0%	22.0%

したがって、DI値は、
(1点×15.0%) + (0.75点×27.0%) + (0.5点×25.0%) + (0.25点×11.0%)
+ (0点×22.0%) = 50.5となる。

この値は、全員が「変わらない」と回答した場合は50(=0.5点×100%)となることから、50を上回っているときは、景気は上昇局面にあり、50を下回っているときは、景気の下局面にあるといえる。

II 調査結果の概要

1 全県の動向

(1)景気の現状判断DI

景気の現状判断DIは41.4となった。令和2年9月調査（以下「前回調査」という。）より3.2ポイント低下し、横ばいを表す50を9期連続で下回った。

表1-1 景気の現状判断DI

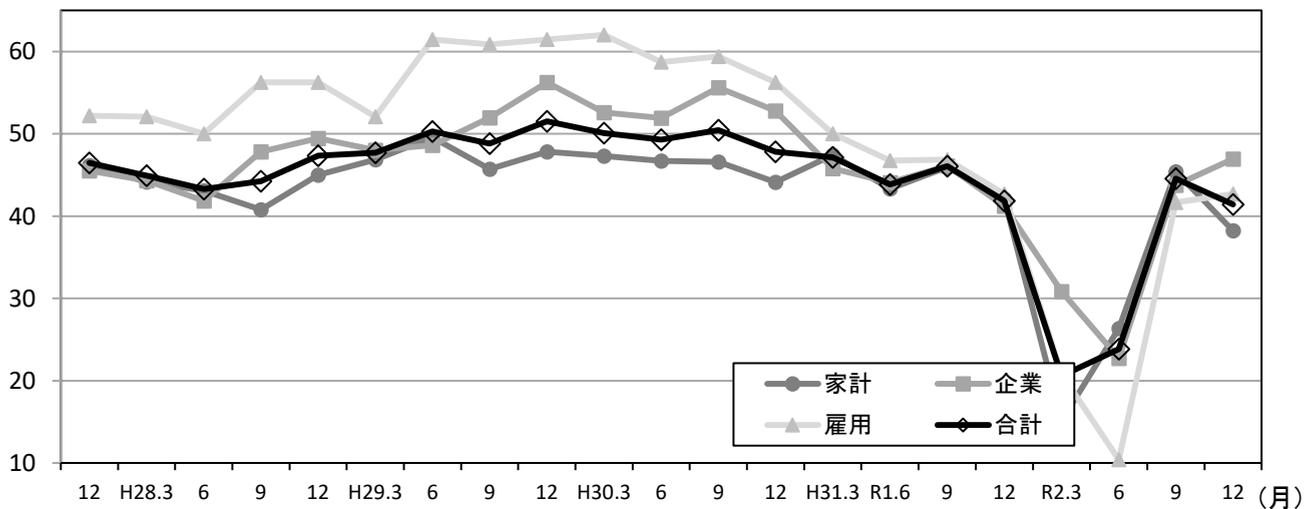
調査年月	令和元年	令和2年	令和2年	令和2年	令和2年
分野	12月	3月	6月	9月	12月
合計	41.9	20.6	23.8	44.6	41.4
家計動向関連	42.1	15.1	26.3	45.4	38.2
小売関連	36.5	20.5	35.2	42.1	42.9
飲食関連	39.3	16.7	17.5	47.4	31.0
サービス関連	47.3	9.0	19.7	49.0	36.8
住宅関連	46.9	25.0	39.3	35.7	31.3
企業動向関連	41.2	30.8	22.8	43.8	46.9
農林水産業	40.6	42.9	21.4	33.3	37.5
製造業	38.5	29.1	24.0	47.4	48.5
非製造業	45.0	30.9	21.3	40.4	46.4
雇用関連	42.7	20.8	10.4	41.7	42.7

表1-2 回答構成比

	令和元年	令和2年	令和2年	令和2年	令和2年
	12月	3月	6月	9月	12月
良くなっている	1.1%	1.8%	3.2%	3.2%	5.3%
やや良くなっている	12.0%	4.6%	12.5%	26.7%	16.7%
変わらない	48.1%	14.8%	11.4%	29.9%	30.9%
やや悪くなっている	31.1%	32.0%	22.4%	25.6%	32.6%
悪くなっている	7.8%	46.8%	50.5%	14.6%	14.5%

図1-1 景気の現状判断DIの推移

(DI)



(2)景気の先行き判断DI

3か月先の景気の先行き判断DIは38.0となった。前回調査より4.7ポイント低下し、横ばいを表す50を9期連続で下回った。

表1-3 景気の先行き判断DI

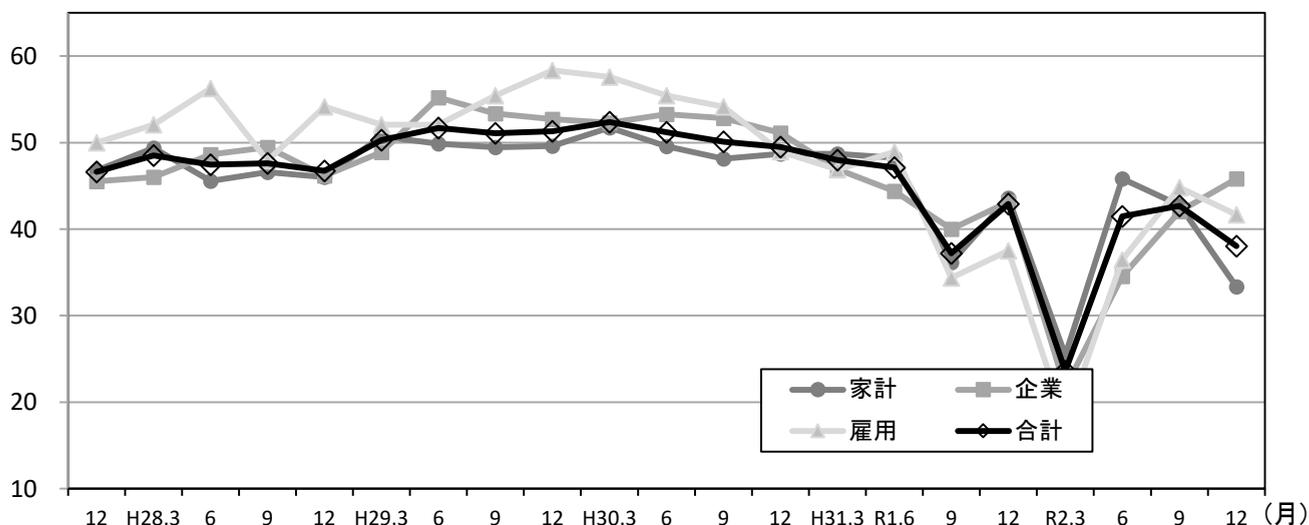
分野	調査年月	令和元年 12月	令和2年 3月	令和2年 6月	令和2年 9月	令和2年 12月
合計		42.9	23.6	41.5	42.7	38.0
家計動向関連		43.6	25.4	45.8	42.8	33.3
小売関連		42.3	20.8	43.6	41.8	35.4
飲食関連		45.2	40.5	57.5	44.7	28.6
サービス関連		43.6	26.3	45.7	44.5	31.9
住宅関連		50.0	15.6	35.7	28.6	40.6
企業動向関連		43.1	21.7	34.6	42.0	45.8
農林水産業		37.5	35.7	35.7	37.5	50.0
製造業		42.7	20.9	38.5	43.8	47.4
非製造業		45.0	19.9	28.7	40.4	42.9
雇用関連		37.5	17.7	36.5	44.8	41.7

表1-4 回答構成比

	令和元年 12月	令和2年 3月	令和2年 6月	令和2年 9月	令和2年 12月
良くなっている	0.0%	0.7%	2.8%	2.5%	1.1%
やや良くなっている	12.4%	11.6%	26.3%	17.1%	12.4%
変わらない	53.7%	14.8%	27.8%	42.7%	40.8%
やや悪くなっている	27.2%	27.1%	19.9%	24.2%	29.1%
悪くなっている	6.7%	45.8%	23.1%	13.5%	16.7%

図1-2 景気の先行き判断DIの推移

(DI)



2 地域別の動向

(1)景気の現状判断DI

① 県北地域

景気の現状判断DIは44.9となった。前回調査より1.6ポイント上昇したものの、横ばいを表す50を9期連続で下回った。

表2-1 景気の現状判断DI

調査年月	令和元年	令和2年	令和2年	令和2年	令和2年
分野	12月	3月	6月	9月	12月
合計	45.5	20.6	24.6	43.3	44.9
家計動向関連	46.3	16.9	22.9	46.3	42.7
企業動向関連	44.4	27.6	28.9	40.3	51.3
雇用関連	43.8	18.8	18.8	31.3	31.3

表2-2 回答構成比

	令和元年	令和2年	令和2年	令和2年	令和2年
	12月	3月	6月	9月	12月
良くなっている	0.0%	0.0%	3.4%	3.6%	7.4%
やや良くなっている	16.1%	8.8%	13.6%	28.6%	22.2%
変わらない	55.4%	14.0%	8.5%	23.2%	24.1%
やや悪くなっている	23.2%	28.1%	27.1%	26.8%	35.2%
悪くなっている	5.4%	49.1%	47.5%	17.9%	11.1%

② 県央地域

景気の現状判断DIは38.8となった。前回調査より6.8ポイント低下して、横ばいを表す50を5期連続で下回った。

表2-3 景気の現状判断DI

調査年月	令和元年	令和2年	令和2年	令和2年	令和2年
分野	12月	3月	6月	9月	12月
合計	42.5	18.5	16.8	45.6	38.8
家計動向関連	43.8	10.1	21.4	50.0	38.8
企業動向関連	39.1	35.9	6.7	41.7	45.0
雇用関連	45.0	25.0	15.0	25.0	20.0

表2-4 回答構成比

	令和元年	令和2年	令和2年	令和2年	令和2年
	12月	3月	6月	9月	12月
良くなっている	3.5%	3.4%	3.6%	3.5%	5.2%
やや良くなっている	8.8%	5.2%	9.1%	29.8%	15.5%
変わらない	47.4%	8.6%	3.6%	31.6%	25.9%
やや悪くなっている	35.1%	27.6%	18.2%	15.8%	36.2%
悪くなっている	5.3%	55.2%	65.5%	19.3%	17.2%

③ 鹿行地域

景気の現状判断DIは44.9となった。前回調査より0.7ポイント低下して、横ばいを表す50を10期連続で下回った。

表2-5 景気の現状判断DI

調査年月	令和元年	令和2年	令和2年	令和2年	令和2年
分野	12月	3月	6月	9月	12月
合計	42.7	22.4	24.6	45.6	44.9
家計動向関連	41.9	20.5	30.9	47.1	42.9
企業動向関連	43.4	27.6	18.4	45.8	47.4
雇用関連	45.0	15.0	5.0	35.0	50.0

表2-6 回答構成比

	令和元年	令和2年	令和2年	令和2年	令和2年
	12月	3月	6月	9月	12月
良くなっている	1.7%	1.8%	3.4%	1.8%	3.4%
やや良くなっている	15.5%	3.5%	12.1%	26.3%	18.6%
変わらない	44.8%	15.8%	12.1%	29.8%	37.3%
やや悪くなっている	27.6%	40.4%	24.1%	36.8%	35.6%
悪くなっている	10.3%	38.6%	48.3%	5.3%	5.1%

② 県南地域

景気の現状判断DIは39.7となった。前回調査より2.8ポイント低下して、横ばいを表す50を7期連続で下回った。

表2-7 景気の現状判断DI

調査年月	令和元年	令和2年	令和2年	令和2年	令和2年
分野	12月	3月	6月	9月	12月
合計	40.7	20.9	26.4	42.5	39.7
家計動向関連	40.8	14.8	28.2	39.4	34.6
企業動向関連	39.5	30.6	27.9	46.1	46.1
雇用関連	45.0	25.0	10.0	50.0	50.0

表2-8 回答構成比

	令和元年	令和2年	令和2年	令和2年	令和2年
	12月	3月	6月	9月	12月
良くなっている	0.0%	1.8%	3.8%	3.5%	6.9%
やや良くなっている	13.0%	3.6%	9.4%	24.6%	10.3%
変わらない	44.4%	16.4%	18.9%	28.1%	34.5%
やや悪くなっている	35.2%	32.7%	24.5%	26.3%	31.0%
悪くなっている	7.4%	45.5%	43.4%	17.5%	17.2%

③ 県西地域

景気の現状判断DIは38.7となった。前回調査より7.1ポイント低下して、横ばいを表す50を27期連続で下回った。

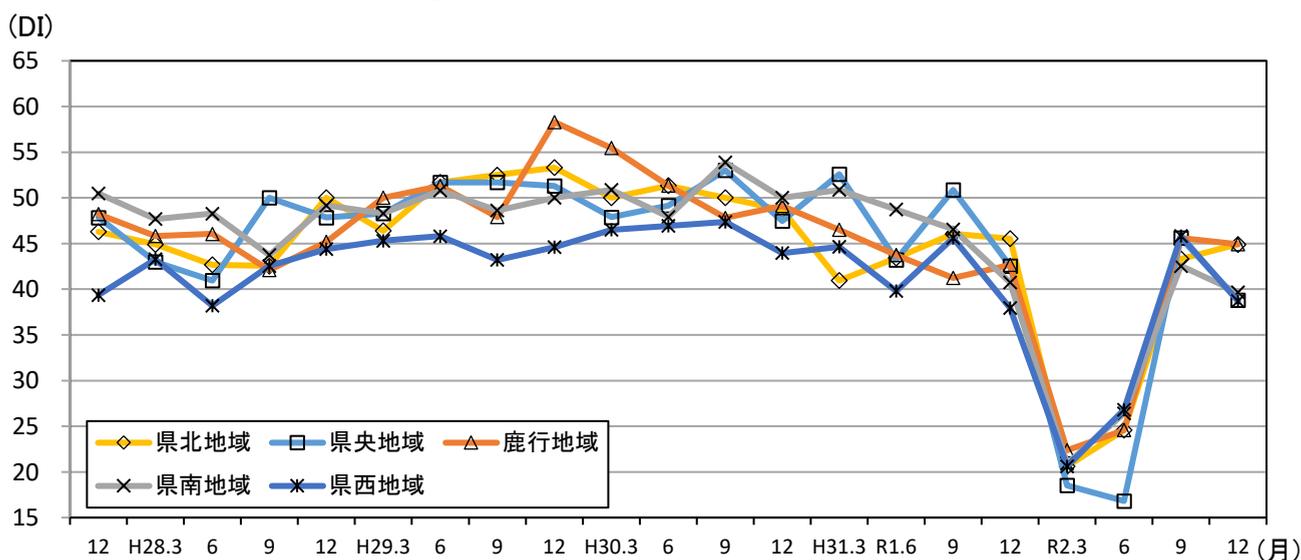
表2-9 景気の現状判断DI

分野	調査年月	令和元年 12月	令和2年 3月	令和2年 6月	令和2年 9月	令和2年 12月
合計		37.9	20.6	26.8	45.8	38.7
家計動向関連		37.5	14.0	28.9	43.5	31.7
企業動向関連		39.5	33.3	28.9	44.4	44.4
雇用関連		35.0	20.0	5.0	65.0	60.0

表2-10 回答構成比

	令和元年 12月	令和2年 3月	令和2年 6月	令和2年 9月	令和2年 12月
良くなっている	0.0%	1.8%	1.8%	3.7%	3.8%
やや良くなっている	6.9%	1.8%	17.9%	24.1%	17.0%
変わらない	48.3%	19.3%	14.3%	37.0%	32.1%
やや悪くなっている	34.5%	31.6%	17.9%	22.2%	24.5%
悪くなっている	10.3%	45.6%	48.2%	13.0%	22.6%

図2-1 地域別現状判断DIの推移



	27.12	28.3	28.6	28.9	28.12	29.3	29.6	29.9	29.12	30.3	30.6	30.9	30.12	31.3	R1.6	R1.9	R1.12	R2.3	R2.6	R2.9	R2.12月
県全体	46.5	44.9	43.3	44.2	47.3	47.7	50.3	48.8	51.5	50.1	49.3	50.4	47.8	47.1	43.8	46.1	41.9	20.6	23.8	44.6	41.4
県北	46.3	44.9	42.7	42.5	50.0	46.4	51.7	52.5	53.3	50.0	51.3	50.0	48.7	40.9	43.4	46.1	45.5	20.6	24.6	43.3	44.9
県央	47.8	43.0	40.9	50.0	47.8	48.3	51.7	51.7	51.3	47.9	49.2	53.0	47.5	52.6	43.2	50.9	42.5	18.5	16.8	45.6	38.8
鹿行	48.2	45.8	46.1	42.1	45.2	50.0	51.3	47.9	58.3	55.5	51.3	47.8	49.1	46.5	43.8	41.2	42.7	22.4	24.6	45.6	44.9
県南	50.5	47.7	48.3	43.8	49.2	48.3	50.8	48.6	50.0	50.9	47.9	53.9	50.0	50.9	48.7	46.6	40.7	20.9	26.4	42.5	39.7
県西	39.4	43.3	38.2	42.5	44.4	45.3	45.8	43.2	44.6	46.5	46.9	47.4	44.0	44.6	39.8	45.6	37.9	20.6	26.8	45.8	38.7
全国	47.8 48.7	43.1 45.4	41.9 41.2	46.3 44.8	49.8 51.2	48.6 50.6	50.8 49.9	50.9 49.6	52.7 53.9	49.8 51.7	49.0 48.2	48.2 47.3	46.6 48.2	44.9 46.7	44.1 43.3	46.6 45.7	39.7 40.7	14.2 15.9	38.8 38.0	49.3 48.7	35.5(季節調整値) 36.5(原数値)

(2)景気の先行き判断DI

① 県北地域

景気の先行き判断DIは36.1となった。前回調査より4.1ポイント低下して、横ばいを表す50を8期連続で下回った。

表2-11 景気の先行き判断DI

調査年月	令和元年	令和2年	令和2年	令和2年	令和2年
分野	12月	3月	6月	9月	12月
合計	46.9	23.7	38.1	40.2	36.1
家計動向関連	50.7	27.2	40.3	38.2	31.5
企業動向関連	41.7	17.1	34.2	43.1	44.7
雇用関連	37.5	25.0	37.5	43.8	31.3

表2-12 回答構成比

	令和元年	令和2年	令和2年	令和2年	令和2年
	12月	3月	6月	9月	12月
良くなっている	0.0%	0.0%	3.4%	1.8%	3.7%
やや良くなっている	14.3%	10.5%	20.3%	10.7%	9.3%
変わらない	62.5%	17.5%	28.8%	42.9%	35.2%
やや悪くなっている	19.6%	28.1%	20.3%	35.7%	31.5%
悪くなっている	3.6%	43.9%	27.1%	8.9%	20.4%

② 県央地域

景気の先行き判断DIは39.7となった。前回調査より6.4ポイント低下して、横ばいを表す50を7期連続で下回った。

表2-13 景気の先行き判断DI

調査年月	令和元年	令和2年	令和2年	令和2年	令和2年
分野	12月	3月	6月	9月	12月
合計	42.5	24.6	45.5	46.1	39.7
家計動向関連	42.4	25.0	56.4	50.0	38.8
企業動向関連	45.3	25.0	25.0	40.0	45.0
雇用関連	35.0	20.0	30.0	35.0	30.0

表2-14 回答構成比

	令和元年	令和2年	令和2年	令和2年	令和2年
	12月	3月	6月	9月	12月
良くなっている	0.0%	3.4%	5.5%	0.0%	0.0%
やや良くなっている	8.8%	12.1%	32.7%	29.8%	17.2%
変わらない	56.1%	12.1%	25.5%	38.6%	41.4%
やや悪くなっている	31.6%	24.1%	10.9%	17.5%	24.1%
悪くなっている	3.5%	48.3%	25.5%	14.0%	17.2%

③ 鹿行地域

景気の先行き判断D Iは37.7となった。前回調査より8.4ポイント低下して、横ばいを表す50を9期連続で下回った。

表2-15 景気の先行き判断DI

調査年月	令和元年 12月	令和2年 3月	令和2年 6月	令和2年 9月	令和2年 12月
分野					
合計	43.1	20.2	37.5	46.1	37.7
家計動向関連	42.6	22.0	41.9	44.9	31.4
企業動向関連	47.4	19.7	32.9	48.6	46.1
雇用関連	30.0	10.0	25.0	45.0	50.0

表2-16 回答構成比

	令和元年 12月	令和2年 3月	令和2年 6月	令和2年 9月	令和2年 12月
良くなっている	0.0%	0.0%	0.0%	3.5%	0.0%
やや良くなっている	15.5%	8.8%	22.4%	15.8%	15.3%
変わらない	50.0%	12.3%	27.6%	49.1%	37.3%
やや悪くなっている	25.9%	29.8%	27.6%	24.6%	30.5%
悪くなっている	8.6%	49.1%	22.4%	7.0%	16.9%

② 県南地域

景気の先行き判断D Iは38.4となった。前回調査より1.1ポイント低下して、横ばいを表す50を6期連続で下回った。

表2-17 景気の先行き判断DI

調査年月	令和元年 12月	令和2年 3月	令和2年 6月	令和2年 9月	令和2年 12月
分野					
合計	39.4	23.2	42.5	39.5	38.4
家計動向関連	42.5	26.6	45.2	37.9	34.6
企業動向関連	34.2	18.1	36.8	38.2	44.7
雇用関連	40.0	20.0	45.0	55.0	40.0

表2-18 回答構成比

	令和元年 12月	令和2年 3月	令和2年 6月	令和2年 9月	令和2年 12月
良くなっている	0.0%	0.0%	5.7%	5.3%	1.7%
やや良くなっている	9.3%	12.7%	26.4%	15.8%	6.9%
変わらない	51.9%	10.9%	26.4%	35.1%	44.8%
やや悪くなっている	25.9%	32.7%	15.1%	19.3%	36.2%
悪くなっている	13.0%	43.6%	26.4%	24.6%	10.3%

③ 県西地域

景気の先行き判断DIは38.2となった。前回調査より3.5ポイント低下して、横ばいを表す50を8期連続で下回った。

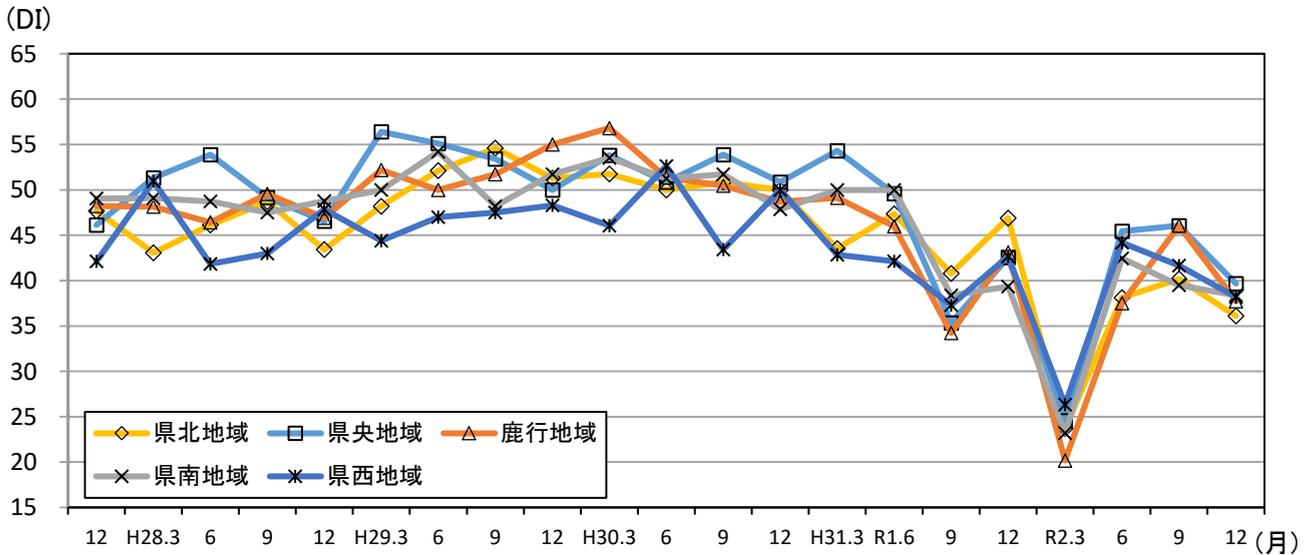
表2-19 景気の先行き判断DI

調査年月	令和元年 12月	令和2年 3月	令和2年 6月	令和2年 9月	令和2年 12月
分野					
合計	42.7	26.3	44.2	41.7	38.2
家計動向関連	39.7	26.5	45.3	41.9	29.2
企業動向関連	47.4	29.2	42.1	40.3	48.6
雇用関連	45.0	15.0	45.0	45.0	55.0

表2-20 回答構成比

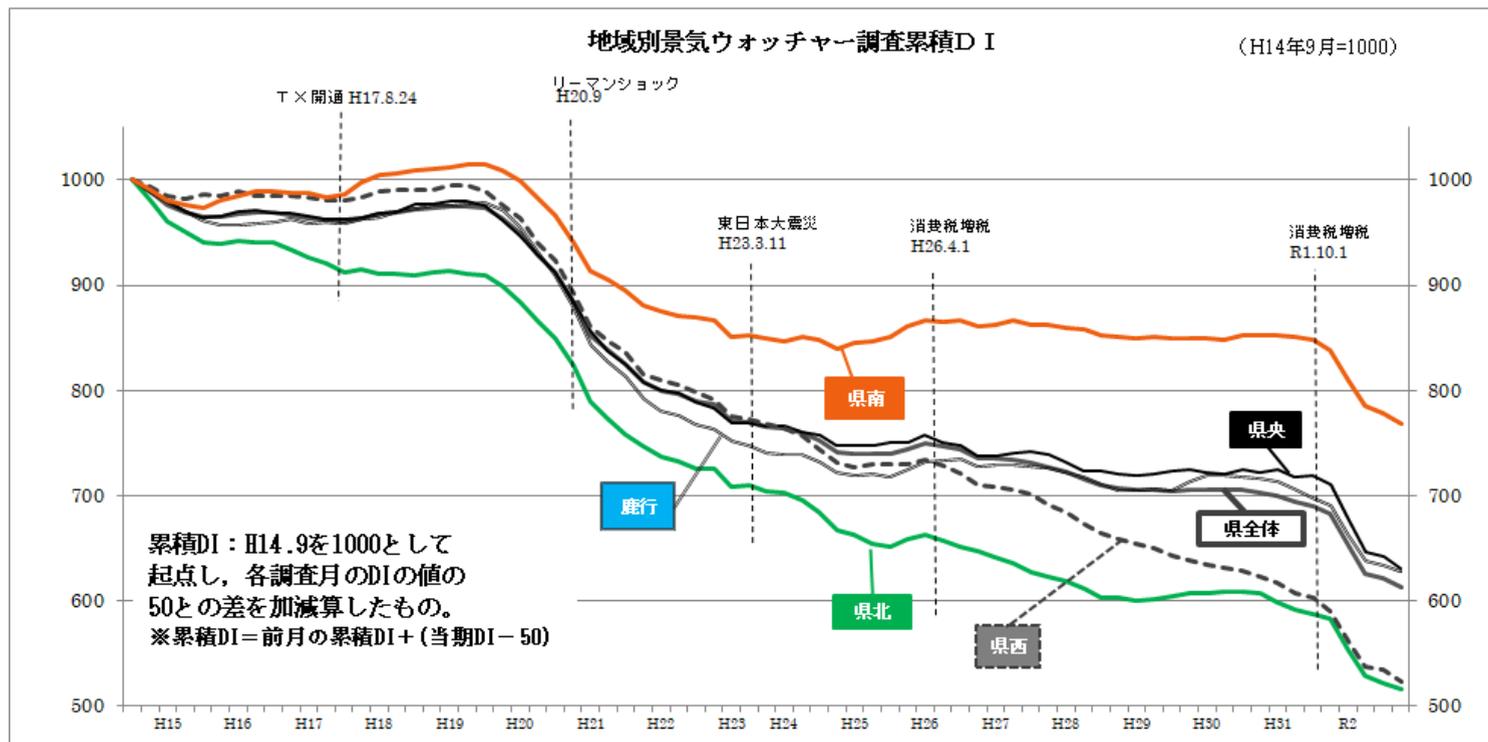
	令和元年 12月	令和2年 3月	令和2年 6月	令和2年 9月	令和2年 12月
良くなっている	0.0%	0.0%	0.0%	1.9%	0.0%
やや良くなっている	13.8%	14.0%	30.4%	13.0%	13.2%
変わらない	48.3%	21.1%	30.4%	48.1%	45.3%
やや悪くなっている	32.8%	21.1%	25.0%	24.1%	22.6%
悪くなっている	5.2%	43.9%	14.3%	13.0%	18.9%

図2-2 地域別先行き判断DIの推移



	27.12	28.3	28.6	28.9	28.12	29.3	29.6	29.9	29.12	30.3	30.6	30.9	30.12	31.3	R1.6	R1.9	R1.12	R2.3	R2.6	R2.9	R2.12月
県全体	46.6	48.5	47.5	47.6	46.7	50.3	51.7	51.1	51.3	52.4	51.2	50.1	49.5	48.0	47.1	37.2	42.9	23.6	41.5	42.7	38.0
県北	47.7	43.1	46.1	48.7	43.4	48.2	52.1	54.6	51.3	51.8	50.0	50.9	50.0	43.5	47.4	40.8	46.9	23.7	38.1	40.2	36.1
県央	46.1	51.3	53.9	49.2	46.6	56.4	55.1	53.4	50.0	53.8	50.8	53.9	50.8	54.3	49.6	35.3	42.5	24.6	45.5	46.1	39.7
鹿行	48.2	48.1	46.4	49.6	46.9	52.2	50.0	51.7	55.0	56.8	51.3	50.4	48.7	49.1	46.0	34.2	43.1	20.2	37.5	46.1	37.7
県南	49.1	49.1	48.7	47.5	48.8	50.0	54.2	48.2	51.7	53.5	51.3	51.7	47.8	50.0	50.0	38.4	39.4	23.2	42.5	39.5	38.4
県西	42.1	51.0	41.8	43.0	47.8	44.4	47.0	47.5	48.3	46.1	52.6	43.4	50.0	42.9	42.1	37.3	42.7	26.3	44.2	41.7	38.2
全国	49.1	46.5	40.7	49.6	50.0	49.1	50.7	51.4	52.2	50.2	50.2	51.8	47.9	48.1	45.6	37.8	45.5	18.8	44.0	48.3	37.1(季節調整値)
	48.2	46.7	41.5	48.5	49.0	49.0	51.5	50.4	51.3	50.1	50.9	50.7	47.0	47.9	46.3	36.7	44.5	18.7	44.8	47.1	36.1(原数値)

(参考) 地域別累積DI



III 景気の判断コメント — 1 景気の状態判断コメント

(1) 県北地域 【現状】

回答	分野	業種・職種	コメント
良くなっている	家計	ゴルフ場	7~9月の来場者実績、前年同期比104のレベルから、10~12月来場者実績、前年同期比109のレベルに増えている。
		住宅販売会社	住宅業界は、コロナ禍の中で在宅ワークの普及によりアパートでは狭く、環境が整っていないなどの理由が挙げられ、住宅を求める方が増えてきた。
	企業	林業関係者	値段、流通ともに活発に動いている。新型コロナウイルスの影響もあるが、需要も増え動き出しているように感じる。
		製造業(化学工業)	少しずつではあるが、注文が増えてきている。
やや良くなっている	家計	商店街代表者	新型コロナウイルスの対応に慣れてきたため、客が来店しやすくなった。
		酒・各種商品小売業	GoToトラベルの影響で取引先のホテル等が大きく回復した。その一方で、夜中心の飲食店は厳しい状況のままである。
		小売業(時計)	新型コロナウイルスの勢いが強い中、外出が減ったためか現金の使用が減っているようで、欲しい物には少し多めに使っているようである。
		観光型ホテル	前年と比較すれば50%ほどだが、GoToトラベルキャンペーンを利用する宿泊者があるため、3か月前よりは多少良くなっている。
		観光型ホテル	GoToトラベルの実施により客単価が向上し、3か月前と比較して景気はやや良くなっていると判断した。
		タクシー運転手	3か月前と比較すると売上げが少しずつ上昇し、景気が良くなっていると思われる。しかし、前年対比で75%止まりで、本当の意味での景気上昇ではないと考える。
		ドライブイン	12月現在より、先月の方が売上げ108%、客数99%と動きがあったが、12月に入ったら、落ち着いてしまった。今は売上げ104%、客数97.6%である。(前年同月比)
		ゴルフ場	来場者が昨年と比較して増えた。平日も、テレワークもあってか、若い男女も増えている。また、GoToトラベルもあって来場者が増えた。
	企業	製造業(食料品)	売上げが少し戻ってきた。しかし、前年まではなく、90%止まりである。
		製造業(輸送用機械器具)	11月の国内自動車販売台数は前年同月比で2か月連続のプラスとなっており、回復軌道に乗りつつあるように見受けられる。部品業界も同様の傾向にありシヨップによってはシフト対応が開始されている。また、北米の10月販売台数が前年同月比で増加と順調に回復しているとの見方が示され、中国も7か月連続で前年実績を上回っており、全世界での早期回復を期待したい。
製造業(精密機器)		新型コロナウイルスが少し落ち着いたことがある。しかし、今後また12月、1月と悪くなっていくようである。	
運輸附帯サービス業		3か月前と比べると若干売上げが上がっている。	

変わらない	家計	衣料品販売店	依然として売上げが低迷している。
		小売業（弁当・惣菜店）	コロナ禍での購買に低迷ながらも変化はない。
		旅行代理店	団体旅行、バスツアーに関しては、ほとんど集客できていない。
		ゴルフ場	来場者動向がやや順調に推移しているものの、雇用情勢は悪化しているとの声を聞く。
		写真店	少しずつ例年の仕事が戻ってきている。
	企業	製造業（電気機械器具）	現在も作業量があり、春までは景気が良い。
		製造業（電気機械器具）	新型コロナウイルスの影響で、受注減の見込みだったが、前年並みとなった。
		製造業（電気機械器具）	3か月前から状況はさほど変わっておらず、液晶・半導体製造装置関連、自動車関連、原子力関連とも受注や引合いが少ない状態が継続している。そもそも顧客への行き来が制限されており、仕事が薄い状態である。
		製造業（電気機械器具）	現在も3か月前と同等の生産高、売上高を推移し、明るい兆しはない。
		製造業（一般機械器具）	前年度と比較して大きく変化がない。
		情報通信業（情報サービス業）	相変わらずのコロナ禍だが業界は年度末案件に向かって変わらず推移している。
雇用	求人開拓員	全国的には新型コロナウイルス等の影響で就職相談が増えているようだが、県北地域においてはその傾向はみられない。3か月前と比較しても、特段の変化はない。	
やや悪くなっている	家計	商店街代表者	商店街を通る人の数が増えつつ減っている。車の量も少なく、週末の駐車場にも空きが出ている。
		スーパー	職種上、客の需要は高まっているが、購入の仕方が割引の大きい手段に偏っており、その傾向は週や月を追うごとに強まっている。客からのクレーム、御意見も細かくなってきている。景気の良い買い方には思えない。
		スーパー	客数、売上高がやや下がっている。
		スーパー	価格に敏感になっているため、店を買い回りする傾向が見られる。また、買物をする商品を事前に確認して来店する姿も見られる。チラシを持ち歩く姿が多く見られる。
		コンビニエンスストア	コロナ禍による業績悪化企業は増加しており、客数減少が目立つ。
		自動車販売店	新型コロナウイルスが少し落ち着いてきて購買意欲が上がってきたかと思っていたところで、感染者が増え、一気に消費活動が鈍化した。
		コンビニエンスストア	新型コロナウイルスの影響がある。
		ラーメン店	市内にうどん店がオープンし、大きく売上げに影響が出ている。
		タクシー運転手	市内大手企業の客からの声を聞くと、テレワークや休日増加等で人の動きが悪くなり、景気には悪影響が予想される。
		レジャー施設	新型コロナウイルス感染者の増加に伴う自粛等により外出を控える方が増えたためか、利用者数が例年より少ないと感じる。
	写真店	やはり新型コロナウイルスの影響は大きい。不要不急の外出自粛。不安もあり、イベントや忘年会の中止で困惑する声を多数聞く。	
	企業	製造業（食料品）	販売価格の下落が顕著。
		建設業	新型コロナウイルス感染拡大の影響から、各方面で自粛となっている。
運輸業		新型コロナウイルスの影響により出荷台数が減少している。新型コロナウイルスの対応（在宅勤務、出張自粛など）が続いている。	
金融業		飲食業・サービス業で依然売上げが低迷していることに加え、製造業及び建設業についても来年以降の民間からの受注が不透明な状況となっている。	
不動産業		対前年比で、売上・来場者数が減少している。	
雇用	求人広告	第3波の影響は大きい。	
	公共職業安定所	先月の有効求人倍率は1.17倍と前々月と比べ0.12ポイント上回ったが、前年同月比は-0.43ポイントと10か月連続で下回っている。有効求人数は前年同月比で17か月連続減少の-19.5%、新規求人数も同13か月連続減少の-15.4%になり、有効求職者は同10.3%と5か月連続で増加して新規求職者は同0.9%増加に転じた。	
	学校就業関係者	求人が全くない。	
悪くなっている	家計	小売業（酒類）	9月～10月で少しずつ良くなってきた感じを受けたが、11月～12月は今までになく最悪の状況である。
		レストラン	新型コロナウイルスなので仕方がない。
		スナック	新型コロナウイルスの収束が見込めない。
		ラーメン店	9月、10月と少し売上げが上向いてきたが、11月頃から新型コロナウイルスの感染者が増え、客足が減ってきた。
		タクシー運転手	コロナ禍により悪くなっていると判断した。
企業	水産業関係者	現在のコロナ状況下から悪くなっていると判断した。	

(2) 県央地域 【現状】

回答	分野	業種・職種	コメント
良	家計	レストラン	GoToトラベル関連のチケットの利用がある。
		観光型ホテル	10月以降東京都も加わったことでGoToトラベルの利用が拡大し、予約状況が大きく改善された。
		ペット美容室	時期的に忙しくなる期間である。
やや良くなっている	家計	商店街代表者	秋頃と比較すると、少しだが従来に戻ってきているような気がする。
		小売業	今月の売上高の前年比と3か月前の売上高の前年比を比較するとやや改善している。
		小売業	プレミアム商品券やGoTo系金券の施策により、上向きになってきたのではないかと。また、新型コロナウイルスに係る自粛に疲れた方々の買物もあるのではないかと。
		コンビニエンスストア	タバコ増税等があったが、コロナ禍で客の購入量が増えている。
		小売業	少しずつだが売り上げ客数が上がってきている。
		理・美容店	新型コロナウイルスの影響で、今年は3月以降暇な日が続く、12月は前半から少し忙しい日がきているので期待したい。
	企業	製造業（印刷・同関連業）	歳の瀬かもしれないが、少しずつ景気の動向が良くなってきていると思う。
		運輸業（道路貨物運送業）	自動車用の高機能樹脂の動きが良く、また消毒用アルコールが活発に動いている。
		金融業	ウィズコロナとして各業種とも創意工夫しながら業をなしていると感じる。その結果、飲食業を除き景気は好転しているように感じる。
変わらない	家計	小売業	昨年は増税という要因があったので単純には比較できないが、3か月前の昨年対比と今月の昨年対比とではほぼ同じような落ち込みをしており、あまり変わらない感じである。
		スーパー	新型コロナウイルスの影響で客の動きが少なくなっている。全く改善しないので、しばらく不況が続くと思う。
		スーパー	11月中旬からの県内における新型コロナウイルス感染者の急増の影響はあるが、笠間市にて10月より発行している「笠間市プレミアム付商品券」の利用に伴う購買意欲の増加により、9月と同程度の景気推移になっているかと思う。
		家電量販店	前年同時期を判断材料にする場合、消費税増税前の駆け込み需要時期とその需要後の落ち込み時期と重なるため判断しにくい。前々年を比較材料とした場合、来客数の変動および売上げの変動に関しても大きな違いがないため、景気は変わらないと判断する。
		自動車販売店	自動車販売業界において市場動向がほぼ横ばい
		楽器販売	物販の停滞感は未だ回復せずといった状況が続いている。反面、音楽教室は割と回復が早く、1年前に比べても90%以上は戻ってきたのが幸いであった。これは、春頃、家にいなければならなかった反動からか、教室に来るだけでも楽しい時間を感じられているからかと推測される。
		都市型ホテル	新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、キャンセル等が増えてきている。
		バス運転手	秋の行楽シーズン、GoToキャンペーンにより、一時的に人の動きが出たが、新型コロナウイルス感染者数の増加・外出自粛要請により、元に戻ってしまっている。
	企業	製造業（食料品）	11月末までは景気回復基調だったが、今は落ち着いてしまった。
		製造業（食料品）	当社は茨城の土産品を中心に展開しているが、新型コロナウイルス感染症の拡大が依然として収まっていない。また、昨年比も3か月前と比較して同様の数値となっている。
		製造業（金属製品）	秋口頃から新型コロナウイルスの影響が出始めており、現在は前年比50%程度の水準で推移している。
		製造業（一般機械器具）	新型コロナウイルスの影響が続いている。
		建設業	職業柄か仕事量に変化はない。
		不動産業	3か月前の売上げと変動がない。来客数も前年と変化なし。
	雇用	求人開拓員	当センターへの事業所からの求人数、当センターを利用する求職者数ともに変化が見られない。

やや悪くなっている	家計	スーパー	新型コロナウイルスの影響で客の来店頻度が下がっているほか、利用点数も下がってきている。人の動きが制限される中、サービス業が厳しくなっている。
		スーパー	客数と客単価の低下がある。
		農産物直売所	ギフトの注文の単価について、安価な物を選ぶ傾向がある。（特に会社からの注文）
		レストラン	新型コロナウイルスの感染が増加しているため、自粛ムードが強くなってきた。忘年会、新年会もキャンセルが出てきている。また、忘年会や新年会を行わない企業もある。
		レストラン	11月からキャンセルが続いている。
		旅行代理店	GoToトラベルが停止された。
		タクシー会社	新型コロナウイルスの影響により、水戸駅の乗降者が減少し、不要不急の外出自粛の影響もあり、飲食店・通院等の顧客が減少している。また、インバウンド等の顧客も激減し、厳しい状況にある。
		道の駅	11月23日までは順調に売り上げが伸びていたが、12月に入ると目に見えて売上げが下がっている。昨年対比で、直売コーナーは90%、食堂は75%になっている。11月までは110%だったので、非常に落ち込んだ感じがある。
		レジャー施設	12月に入り、新型コロナウイルスの感染拡大により、外出控えと思われる入場者数の減少が見られるようになり、状況は悪くなっている。
		観光名所	9～10月は来客があったが、11～12月はほとんどない。
		スーパー銭湯	年間通して一番売上げが上がる年末年始を迎えるも、収束が見えない新型コロナウイルスの第3波襲来により、増々感染が拡大している現状にあってはとも良くなると思えず、悪い方向に進んでいると思われる。
		レジャー施設	新型コロナウイルス感染者の増加により、政府から蔓延予防対策（外出自粛等）の実施要請を受け、利用者並びに出港艇も減少方向に転じてきている。そのため、増加傾向であった給油販売数量も減少へと変わりつつある。
		設計事務所	住宅の新築計画やリフォーム事業の検討・受注件数が減少傾向になってきたことから、やや悪くなっていると感じる。
		企業	製造業（印刷・同関連業）
製造業（窯業・土石製品）	新規の受注が減っている。		
製造業（精密機械器具）	売上げ金額ベースでは、数百万円の差で4%減だが、受注金額ベースの傾向から判断した。		
建設業	毎年この時期になると、カレンダー配りにより客と接する機会が多く、その時にリフォーム修繕等の話が出るが、今期は客と接する時間がなく、受注への結びつきがあまりなかった。		
工務店	新型コロナウイルスの感染拡大によってやや悪くなっていると判断した。		
サービス業（コンサルタント業）	新型コロナウイルスの影響で、各企業が設備投資を抑えている。		
雇用	人材派遣業	売上げが段階的に下がりつつある。	
	学校就業関係者	21卒の採用状況は、緊急事態宣言や公務員試験の日程変更等の影響で例年より2か月程度後ろ倒しになっているようである。12月で例年の10月の状況。就職活動を継続している学生には、オーダーメイドのキャリア相談と併せて、採用を継続している企業の情報を提供しサポートしている。コロナ禍の中、就活や採用活動について、ネガティブな情報等があるが実態とは少し違うのではないだろうか。不安を煽られ、学生も採用する企業側も混乱する要因のひとつである。不正確な情報からミスリードに繋がることを懸念している。こういう時期だからこそ、根拠のある正しい情報のもと冷静に対応することが必要だ。	
悪くなっている	家計	割烹料理店	新型コロナウイルスの蔓延により昨年同月比で売上げが50%以下になる見込み。
		割烹料理店	新型コロナウイルスの影響で飲食業はどんどん悪くなっている。
		都市型ホテル	大型の忘年会予約を中心にキャンセルが多く、中・小人数の宴会も予約が伸びない。全体的に会食の予約が伸びない。
		旅行会社	新型コロナウイルスの影響により遠足や修学旅行が中止になり、景気は悪くなっている。
		タクシー運転手	コロナ禍の状況では良くはならない。3か月前よりも現状は厳しい状態にある。
		タクシー会社	緊急事態宣言が解除されて、一時的に水戸駅の利用者が増えてきたところで、急激な感染拡大に伴って、駅の客や夜間利用者、病院への通院者も一気に減少した。
		観光名所	新型コロナウイルス感染拡大の影響が大きく、予約のキャンセルや来館者が減少した。
		設計事務所	前年度の売上げと比較して本年度は落ち込んでいる。また、コロナ禍の経済の低迷も増々深刻な状況にきている。
雇用	求人広告	新型コロナウイルスの影響は日増しに悪化していると感じる。	
	公共職業安定所	新規求人数はマイナス基調で推移している。有効求人数は対前年同月比で12か月連続でマイナスであり、4月以降のマイナスは二桁となっている。有効求人倍率は対前年度同月比で11か月連続でマイナスとなっている。	

(3) 鹿行地域 【現状】

回答	分野	業種・職種	コメント
良	家計	小売業	3か月前と比べて、客数・客単価が増えている。
	雇用	民間職業紹介業	取引先各社の動向も良く、市場が動き出している印象がある。
やや良くなっている	家計	コンビニエンスストア	客単価が上がっている。
		小売業（薬品店）	潮来市プレミアム商品券の利用客が多く来店しており、客数・売上ともに増加傾向にある。
		小売業（書店）	コロナ禍で巣ごもり需要があった。
		和食レストラン	コロナ禍の影響を受けて売上げが減少していたが、徐々に回復傾向にある。ただし、12月に入っての再びの感染拡大の影響を受け、宴会（忘年会等）の予約はキャンセルされ厳しい状況となっているが、反面、おせちの販売や味噌煮込みうどんのネット販売は好調に推移している。
		旅行代理店	GoToトラベルで3か月は良くなってきていた。
		道の駅	GoToキャンペーンの利用客が増えた。
	企業	製造業（金属製品）	飲食サービスは除いて、製造業界は少しずつ休日数が減っている。
		建設業	中古住宅が売れているようである。不動産会社が中古住宅をリフォームして売っている。
		運輸業（道路貨物運送業）	コロナ禍により一般客のネット注文が多くなるなど、グループの空車台数が減った。
		金融業	新型コロナウイルス感染も現時点では抑えられており、総合的な業種で客足が伸び、一時低迷していた売上高をカバーする回復ぶりがある。
	雇用	公共職業安定所	新規求人数は対前年比では減少しているが、直近3か月では増加している。
変わらない	家計	スーパー	売上前年比が変わらない。
		家電販売店	新型コロナウイルスの影響により売れている商品群は変わらず、現在の状況から考えて引き続き同様に推移すると思われる。
		農産物直売所	継続的に新型コロナウイルスの影響を受け続けている。
		農産物直売所	新型コロナウイルスで集客は減少しているが、販売方法が通信販売、インターネットで売上げは変わらず販売している。
		小売業（菓子類）	3か月前の売上げの対前年比と今月のそれはほとんど変わらない。
		小売業（食品）	コロナ禍の影響で動きが悪い。
		洋食食堂	国のGoToイートや市のひとり親家族への食事券の補助、高齢者支援事業の食事券の補助等により、テイクアウトを中心に売上げは平年並みで落ち着いている。
		日本料理店	コロナ禍で飲食店は夜の酒類を出すところは厳しいと思う。また、自粛要請が出ているのでキャンセルがひどい。
		レジャー施設	以前と同様に客数3割減で、当然売上げも減少しており、悪いまま変わらない。
		理・美容店	新型コロナウイルスによって、人との接触を避けるようになってから、若い父親の中ではバリカンを買って子ども達を自宅でカットする方が増えている。多少なりとも我々の仕事も悪くなっている。
	企業	製造業（化学工業）	生産状況は3か月前と比べて、今月も大きな増減はないことから、景気は横ばい状態が続き、変わらないと判断する。
		製造業（鉄鋼業）	全体的にみて、受注数があまり変わらない。
		製造業（食料品）	市販用水産缶詰製品の販売は多少ペースダウンしてきているが、工場の操業は何とか維持できている。温暖化の影響と思われる新物秋鯖漁の水揚げが遅れ気味にて、今後の漁獲状況次第では魚価高が懸念される。その場合は現在の景況では製品売価の引き上げによる販売低迷の可能性も出てくる。
		製造業（ゴム製品）	取引先の臨時休業が3か月前と変わらずあるため、オーダーが少ない。
製造業（鉄鋼業）		新型コロナウイルスの影響による需要の落ち込みが回復しつつあるが、足元景気の好転は感じられない。	
建設業		コロナ禍で経済が停滞している感はあるものの、変わらないと思う。	
運輸業（道路貨物運送業）		業績面は3か月前から横ばいで推移している。前年対比は5%減少という状況。	
保険業		自動車保険で安いネット販売に少し契約が流れているが、火災、生命保険でカバーし維持している。	
不動産業		景気は低飛行中である。	
雇用	人材派遣業	新規受注が昨年同期比減となっており、同じ状態が続いている。	

やや悪くなっている	家計	商店街代表者	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、今月に入ると全国・県及び近隣市町村でも感染拡大が増加傾向にあり、市内でも感染者が発生してきている。小規模事業者、特に旅館・宿泊業及び飲食業においては今後も敬遠される傾向はますます強くなってくると考えられ、大変厳しい状況が続くと予想される。
		スーパー	コロナ禍で来店頻度が減少して客数が減少していたところに、内食傾向が強まり、買上げ点数、客単価が大幅に増加して好調な売上を維持してきたが、GoToキャンペーン等で新型コロナウイルスの感染予防意識が低下してきた状況で外食がもとに戻り始めている影響が大きい。競合影響として他県資本のスーパーマーケット、ドラッグストアの出店影響も否めない。
		コンビニエンスストア	新型コロナウイルス下において、時短営業が続いている店が多くなっていることから、経済状況はやや悪くなっていると感じる。
		衣料品販売店	売上げ、客数が減少している。また、ここにきて新型コロナウイルスの感染が広がっているのも一因である。
		小売業（薬品店）	来局患者の減少、処方元クリニック外来患者の受診抑制による患者数の減少がある。クリニック自身も新型コロナウイルスを警戒し、完全予約制としている。
		割烹料理店	多人数の会食はないが、予約やフリーの客も思ったより来てくれていた。しかし、新型コロナウイルスの感染者が増えてきて予約もキャンセルになってきている。
		観光型ホテル	新型コロナウイルスにより客足が遠のいて少し戻り始めていたが、ここにきてまた減り始めている。東京方面からの客が多いため、東京の感染者数に踊らされている。
		観光型ホテル	3か月前と比較してGoToトラベルキャンペーンの利用者が増え、宿泊の予約も増えたが、最近になってまた新型コロナウイルスが流行してきたため、キャンセルも同時に増えてきているので、やや悪くなっていると感じる。
		運転代行	新型コロナウイルスの影響で売上げが大幅に下回っている。予約もほとんどない状態である。12月なのに人もあまり出ていないように思う。
		タクシー運転手	東京を中心に高止まりしている新型コロナウイルスの感染者数が地方においても拡大し始めているため、出張者等も減り始めているように思う。
		都市型ホテル	GoToキャンペーンがあって少し客数は戻ってきたが、一旦キャンセルになったのでまた少し悪くなっている。また、1月は元々閑散期でもある。
		ゴルフ場	新型コロナウイルスの影響がある。コンペ予約も減少傾向にある。
		ゴルフ場	入場者数はやや増加しているものの、個人利用がほとんどで、コンペが大きく減少し、プレー代も値下げせざるを得ず客単価が前年と比べて大きく下落している。
		クリーニング店	今年は暖冬なので、野菜（葉物）が豊作で安い。
		住宅販売会社	売上げだけで見れば昨年並みだが、新規商談・成約が減ってきた。
住宅販売会社	新型コロナウイルスの影響で客の予算が低くなっている。家賃が払えず、市の補助や生活保護を受ける例がある。		
企業	農業関係者	新型コロナウイルスの影響で、野菜の消費が落ち込んでおり、単価安の状態が続いている。	
	製造業（電気機械器具）	主たる顧客である自動車部品メーカーからの受注が鈍い。	
	不動産業	新型コロナウイルスの関係で知り合いの居酒屋、スナックなど平日はほとんど客が来ない日がある。金曜日や土曜日は少し来店客があるとのこと。また、居酒屋は今まで17時からの営業時間だったが、売上げを上げるため、15時から営業すると言っていた。	
	サービス業	日韓関係の悪化や新型コロナウイルスの影響等、外的要因による経済活動の萎縮が一部業界で見受けられるのに加えて、自動車業界の変革によって予算配分が変わりつつあり、従来の材料を扱っている企業では少しずつ影響が出始めているようである。	
雇用	学校就業関係者	業種や企業規模によっては、人手不足により学校を訪ねてくるケースがあるが、全体的には学生の求人が減っている。	
悪	企業	製造業（食料品）	イベントや祭りなどがなく出店できない。店舗の客足も少なく、歳暮なども少なくなっている。
	雇用	求人開拓員	新型コロナウイルス感染症により外回りの求人開拓はもちろん行えず、様々な統計に表れないような（労働保険等にも加入していない）事業所等の倒産・閉店が増加してきている。

(4) 県南地域 【現状】

回答	分野	業種・職種	コメント
良くなっている	家計	コンビニエンスストア	新型コロナウイルスに慣れてきたのか、ソーシャルディスタンスを保ちながら外出する人が増えてきた。
		洋食食堂	ソーシャルディスタンスのために店内の席を離しているが、予約状況からみて良くなっていると思われる。お断りすることが多い日がある。
		テーマパーク職員	同時期の前年、過去の12月と比較して来場者は減少しておらず、曜日や天候によっては増加している日もある。
企業	製造業(非鉄金属)	コロナ禍からの回復が見られる。	
やや良くなっている	家計	小売業	緊急事態宣言解除後で新型コロナウイルス感染の第2波があった6～9月期に対し、各種GoToの景気施策や施設の営業時間も短縮を止めて通常時間に戻したことなどもあってか、全般的な消費動向が回復の兆しを見せていた。
		タクシー会社	スーパーやデパート、飲食店に出かけても混んでおり、人が並んでいる。
		サービスエリア	3か月前の時点では、新型コロナウイルス感染予防のために出控えが起こっていたが、10月からのGoToキャンペーン開始の影響もあり、観光利用の客数の回復が目立った。また、10月以降GoToキャンペーンのクーポン券の利用可否の問合せも日々寄せられるようになり、外出に向けての関心の高さが窺える。
	企業	製造業(窯業・土石製品) 製造業(その他)	仕事の問合せが増えている。 ある一部の受注は増えている。
雇用	求人広告	3か月前と比較すると、これまで抑えていた必要な消費活動を積極的に行うようになったと感じる。	
変わらない	家計	スーパー	客数の変化がない。
		スーパー	客数は横ばいが続いているが、客単価がアップしている分だけ売り上げ上昇が3月頃から続いている。
		小売業(生花店)	市発行の新型コロナウイルス緊急対策のチケットの使用は増えたが、決して売上げが伸びているわけではない。普段使いのものをプレミアムチケットを使って小分けで使用している感が強い。
		寿司店	ほとんど変化がない。
		都市型ホテル	3か月前よりGoToキャンペーン等で宿泊の戻りやGoToイートによるレストランの回復で多少上向きとなったが、ここ11月後半から12月上旬でまた減少となってきた。宴会も大きな新年会のキャンセルも続き、1年経過してしまったようであった。相変わらずウエディングも来館減少で決定もなく、施工も人数減少で家族のみの披露宴となっている。
		ゴルフ場	来場者数で見れば以前より安定してきている。ただし、コロナ禍の影響によりコンペ等は自粛しているようである。
		レジャー施設	3か月前と比較して来場者数・売上に大きな変化がない。
	企業	農業関係者	12月期(初旬まで)の乗客数・客単価を今年9月期と比較すると、両者とも若干の減少傾向である。これは毎年の傾向である。前年同期と比較すると、ほぼ変わりはない。
		製造業(食料品)	新型コロナウイルスの影響により先行きの見通しが立たず、相変わらず良くない。
		製造業(窯業・土石製品)	公共事業関連において、現時点では仕事量が減ったとは聞こえてこない。
		製造業(一般機械器具)	新型コロナウイルスの影響もなく、事業が継続されている。
		建設業	新型コロナウイルスの影響であまり良いとは思えない。
		建設業	3か月前は大きい工事が入っていて工事高も多かった。今月は小さい工事が多いが売上高は3か月前と変わらないので、景気は変わらないと思う。
		不動産業	賃貸管理業をしているが、問合せ、案内、契約がある。
	金融業	売上が回復しつつある業種もあるが、新型コロナウイルス発生以前の水準には戻っておらず、自己資金や融資でしのいでいる状況が続いている。	
雇用	公共職業安定所	管内飲食店から、GoToイートの影響もあり10月は売上げ増加したが、11月からは感染症の拡大により売上げが減少しているとの回答がある。今後も新型コロナウイルスの感染状況により、多業種に影響があると思われる。	
	学校就業関係者	業務の関係から、学校求人からの判断となるが、例年と変わらず求人もあり、就職内定をもらっているため、景気は変わらないと判断した。	
	求人開拓員	企業の求人件数、人数ともに3か月前と同程度である。	

やや悪くなっている	家計	スーパー	客数、売上げが落ちている。
		家電販売店	来店客数の低下がある。
		スーパー	売上げの伸びが減少している。売上げ前年比を確保するため、臨時のチラシを多発している。
		家電販売店	新型コロナウイルス等の影響がある。
		衣料品販売店	外出自粛が多くなり、衣服の購買はなかなか後回しとなっている。
		小売業（米穀）	地域振興券の活用で、そこそこ消費はあったが、次回までの間隔が相当伸びそうである。今秋の米価が安いことで、例年以上に縁故米の出回りが多く、地域振興券以外での売り上げが少ない。換金にも時間が掛るのも厳しい。
		都市型ホテル	相変わらず新型コロナウイルスの影響で客足は戻っていない。GoToトラベルも宿泊施設にとっては負担ばかり多く何のメリットもない。仕事や出張などはGoToトラベルの趣旨から外れているとの通達により社名での領収書も発行できない。ビジネスホテルやビジネスマンなどが恩恵を受けられないのだから意味のない政策である。GoTo事業によって地方にもウイルスが拡散されてしまい、新型コロナウイルスが終息しなければ景気など回復するわけがない。
		タクシー運転手	新型コロナウイルスの影響が長引き、外出自粛要請や、店舗の時短、休業している飲食店が今後も続いていくと思われる。また、企業においても接待等の機会が少なくなっている。全体的に人の動きがなく、閑散とした状態が続くのではないかと感じる。
		ゴルフ場	例年であれば、忘年ゴルフ、忘年コンペ後パーティ等で混む時期だが、プレーヤーの人数は増えているものの、表彰式等もなく、ただプレーして帰る状況が続いている。景気が良くなっているとは思えない。
		ボウリング場	コロナ禍で余暇やレジャーであったり、イベントの中止や縮小など、景気の悪化に大きく影響を与えていると感じる。
	理・美容店	自粛の影響で客が減少している。	
	設計事務所	3か月前同様、新型コロナウイルスの影響で引合数、契約件数が鈍い。	
	企業	農業関係者	ボーナスが減少している方を多くみる。
		製造業（食料品）	取引飲食業者やネット注文からの客が回復傾向にある。しかし、大口のイベントがなくなっているため、全体的にみると悪くなっている。
製造業（印刷・同関連業）		受注件数の減少と受注数量の減少がある。	
製造業（窯業・土石製品）		新型コロナウイルス感染拡大の影響で、営業先によっては訪問を控えるよう制約が多くなっている。	
運輸業（倉庫業）		新型コロナウイルスの影響により、各荷主の生産も減少し、入出庫数が少なくなっている。	
雇用	民間職業紹介業	取引先の業績が回復せず、採用計画も見直しが多い。	
悪くなっている	家計	コンビニエンスストア	前月、前々月の売上げと比較して、12月に入って売上げが下がっている。
		農産物直売所	新型コロナウイルスの影響で海外からの客が大幅に減った。
		和食食堂	新型コロナウイルスの影響がある。
		和食食堂	コロナ禍に起因する自粛ムードによって外食を自粛する傾向にあると考える。
		都市型ホテル	9月以降は5月に比べると多少忙しくなった実感はあったが、12月になって新型コロナウイルスの第3波で経済的にも自粛ムードが強く、景気が良くなる兆しが見えていない。
		タクシー運転手	外出する客が減った。企業への送迎も半分以下になっている状況。駅自体が動かず、企業の客が動かない印象。夜の客は9割近くなくなっている。
		タクシー運転手	土浦市内の店は30店が自粛に入っていて、夜の客は全くなくなっている。
		タクシー運転手	新型コロナウイルスの影響により、悪くなっていると判断する。
理・美容店	来店しなくなった客や、明らかに期間が伸びている方が多い。特に飲食業の方は大変だと思う。		
企業	不動産業	飲食業、学習塾等のテナント賃料の引下げ要請が増加している。	

(5) 県西地域 【現状】

回答	分野	業種・職種	コメント
良	家計	家電販売店	店舗売上げが前年比200%以上の進捗である。
	企業	製造業（化学工業）	電子材料分野、自動車用分野で需要が急激に回復している。
やや良くなっている	家計	コンビニエンスストア	コロナ禍で全体的な売上げは悪いものの、在宅傾向増加による日中の客数増加が継続した状態で、新型コロナウイルス慣れによる週末の客数の回復が見られるため、やや良くなっている。
		食堂	段々と夜の客が増えた。
		理・美容店	客もコロナ禍の生活に順応できてきたような感じで、気にしながらも来店してくれている。
	企業	製造業（窯業・土石製品）	3か月前が新型コロナウイルスの影響により落ち込みが酷かったため、やや良くなっていると判断した。
		製造業（非鉄金属）	販売先の稼働状況が戻りつつあり、工場の生産量も増えつつある。通常輸入されていた塊が少なくなり、国内の塊を販売することで国内の工場生産が戻っている。
		製造業（電気機械器具）	コロナ禍ではあるが、一部の部署で受注増による人員の増員要請がある。
		金融業	一部の飲食業を除き、3か月前と比較して徐々に人の動きが活発化し、各事業所とも売上げが回復している。
	雇用	人材派遣業	人材募集が増えた。
		求人広告	景気が悪い中でも、採用はしていかなくてはと前向きになっている企業が多いように感じる。採用人数の規模は以前と比べて減ってはいるものの、数か月前よりも回復していると思われる。
	変わらない	家計	農産物直売所
日本料理店			10月に一時良くなったが、11月に入り戻ってしまった。外出して飲食をする機会が激減している。アルコールが出ない。また、客単価が下がっている。
タクシー運転手			3か月前の1日当たりの平均營收と今の平均營收を比較したところ、1000円前後の差額しかないため、変わらないと判断した。
道の駅			10月にやや人の動きが出てきたが、新型コロナウイルスの感染拡大によって鈍くなり、元に戻ったかやや減った感がある。総じて景気は低調である。
ゴルフ場			予約の状況から変わらないと判断した。
商店街代表者			新型コロナウイルス感染拡大の影響で、県南・県西地域の一部に不要不急の外出自粛と、飲食店などへの営業時間短縮が要請されており、年末年始の消費の活発化に懸念が生じる。また、冬期のボーナスが一部で減少となる見込みであり、厳しいと想定される。
企業		建設業	特に変化を感じない。
		建設業	工事の受注について、前年比と3か月前の前年比を比べると、今月の前年比の伸び率が少し悪くなっているため景気は良くなっているとは言えない。
		サービス業（コンサルタント業）	新型コロナウイルスの影響は大きく、活気がなくなったような気がする。
雇用		人材派遣業	一時的な年末繁忙による求人が増えたが、その他多くの企業がまだ長期的なポジションでの採用を控えている。
		学校就業関係者	特段良くなる要因がないように思われる。
		求人開拓員	求人票の数が低調なままで推移していると感じる。

やや悪くなっている	家計	スーパー	新型コロナウイルス感染者増加に伴い、外出と支出を抑えているように感じ取れる。スーパーへの買出しも回数を減らしているように思う。
		スーパー	利用客は価格志向傾向にあるようだ。
		メガネ・時計販売店	新型コロナウイルスの感染者が増えている。
		旅行代理店	新型コロナウイルスの影響はかなり酷くなっており、3か月前の9月と変わりなく思えるが、預貯金も底をつき、大変さは増している。ツアーを計画してPRしても参加者数名では出発できない。非常事態であると思う。
		道の駅	コロナ禍のなかで年末年始の外出自粛が多くなる。
		ゴルフ場	例年に比べ、コロナ禍により人の動きが鈍化している。特に、会食を避けるため、コンペ需要は少なくなっている。
		レジャー施設	新型コロナウイルス感染症の影響が徐々に出ており、客足が遠のいている感がある。特に、来館者数の推移を見ていると、それを切に感じる。
		設計事務所	工場の設備投資が止まってきた。
		設計事務所	受注の機会が減った。
		企業	畜産業関係者
製造業（電気機械器具）	景気が良くなりつつあったが、ここにきて新型コロナウイルスの第3波に見舞われ、3か月前よりもやや悪くなっている。		
製造業（印刷・同関連業）	新型コロナウイルスの影響で需要が回復しない。		
製造業（金属製品）	仕事量が少ない。		
悪くなっている	家計	商店街代表者	コロナ禍の影響により悪くなっている。
		商店街代表者	テレビも新聞も新型コロナウイルスに関する報道のみでさらに悪くなっている。
		製茶販売	スーパーで安売りしていても、前ほど客が多く買って帰らない。その日の特価品だけを買って帰る方が多い。
		レストラン	今年一番の忙しい時期を迎えているが、このコロナ禍でグループの予約が入らない。クリスマス特別メニューの予約席が埋まらない。前年比がどの位になるのかわからない。
		和食レストラン	新型コロナウイルスの影響が甚大であり、外食を自粛する傾向が続いている。
		都市型ホテル	新型コロナウイルスの第3波による影響で、来客数が減少している。
		旅行会社	新型コロナウイルスに関しての政府の対応の悪さが目立ち、一般人はどう対処すべきかに迷いがある。そのため、消費も控えめになっている。
		タクシー運転手	新型コロナウイルスでタクシーの利用が全くない。会社関係の東京方面の客がない。
		クリーニング店	世の中が自粛ムードなので、物の消費が渋いと思う。
企業	製造業（窯業・土石製品）	大幅に受注が減少している。	
	製造業（窯業・土石製品）	本当に残念だが、新型コロナウイルスの影響がジワリジワリ、ボクシングのボディブローのように効いているのが現状。今年1月～3月頃には全く予想だにしていなかった。我々の業界の経営者と会えば、何人かは廃業を考えていると言い、私自身も給与を頂けないのみならず、自分自身の預貯金を会社へ入れなければ経営が成り立ち得ないのが実状である。	
	製造業（金属製品）	受注件数に大きな変化はないが、まとまった注文がない。発注先の安全運転が見える。	

Ⅲ 景気の判断コメント — 2 景気の先行き判断コメント

(1) 県北地域 【先行き】

回答	分野	業種・職種	コメント
良	家計	住宅販売会社	住宅用地がこれから増えてくる。これは、団塊世代の方が相続の時期にきたことが大きな原因となる。その子世代は、地元にはいない方や土地を必要としていないなどの理由により手放す方が多いことと、建てる方は特に東海村に限っては事業所関連の動きが活発になってきたため、住宅を求める方は増えてくる。
	企業	製造業（化学工業）	取引先が経済活動を再開している。
やや良くなっている	家計	スーパー	新型コロナウイルスに対するワクチン等が開発されてきているので、やや景気は持ち直してくると思う。
		小売業（時計）	世界の情勢にもよるが、現在のままでいけばやや良くなっていると思う。
	企業	林業関係者	年末年始に向けて飲食の場の制限はあるものの、林業業界において素材、製品等は引き続き需要が伸びてくると感じる。今後増々活発化していくと感じる。
		製造業（精密機器）	客も、生産しないと、ということで良くなっていると思う。
変わらない	家計	商店街代表者	新型コロナウイルス対策が劇的に改善するとは思えない。
		衣料品販売店	3か月先に新型コロナウイルスの終息があるとは思われない。
		小売業（弁当・惣菜店）	以前ほどの緊迫感はないものの、新型コロナウイルスの不安が縮小しない限り低迷は続くだろう。
		レストラン	新型コロナウイルスの状況が良くなってくれば少しは変わるかもしれない。
		旅行代理店	新型コロナウイルスの感染の状況次第。現状の拡大状況のままですとすれば、悪くなっている可能性も考えられる。
		タクシー運転手	3か月スパンで考えると大きな変化はないと思う。絶対的に新型コロナウイルスの状況次第である。
		ドライブイン	11月中は天気も良く、GoToで動く客が多かった。徐々に忙しくて良かった。しかし、また新型コロナウイルスの感染者が増えてきて、年末も3か月先も伸びそうにない。
		レジャー施設	新型コロナウイルス感染者の増減に大きく影響されると思っており、今後の推移が不透明である。
		ゴルフ場	1～3月の予約状況は対前年比で横ばいで推移している。
		ゴルフ場	新型コロナウイルス感染拡大に伴う経済活動の停滞が考えられる。
企業	製造業（電気機械器具）	現在も作業量があり、春までは景気が良い。	
	製造業（電気機械器具）	液晶・半導体製造装置関連や自動車関連はあまり動きがない。原子力関係において、年度末に向けて工事物件の動きが出てきた。	
	製造業（一般機械器具）	前年度と比較して大きく変更はない。	
	製造業（精密機器）	感染者が日々増えており、一進一退の状況だと思う。	
	金融業	新型コロナウイルスの影響は長期化が見込まれると予測している客が多いため、今後3か月先の景気は変わらないものと思慮される。	
	不動産業	新型コロナウイルスの状況次第。ワクチン接種、感染拡大に歯止めがかかれば、個人の消費動向は変わらぬと思う。	
雇用	学校就業関係者	判断材料がない。	
	情報通信業（情報サービス業）	年度末までは案件が見えている。来年度が厳しい予想となっている。	

やや悪くなっている	家計	商店街代表者	新型コロナウイルスの感染拡大によりやや悪くなっていると判断する。
		スーパー	まだまだ景気は底ではないと考える。冬の賞与の減額または不支給の影響はある。
		コンビニエンスストア	現状の流れは変化せず、業績悪化企業は増加していく。
		ラーメン店	業態の違いで良い悪いが出ると思うが、飲食について話せば、これからはHACCPを理解し、内容を取り入れるなどコストがかかるが多くなるので、古くから営業している店舗などは対応に困るなど、大きく前進できる反面、後退し辞めていく個人は出るだろうと思う。最終的に自殺や犯罪に手を染めるなど、景気に大きく影響を及ぼすのではと考える。
		観光型ホテル	新型コロナウイルスの感染状況が徐々に広がってきており、旅行や外出を控える人が増えると思われるため、3か月先の景気はやや悪くなっていると判断する。
		タクシー運転手	新型コロナウイルスの第3波の拡大が最も懸念される。飲み会等も殆ど行われない状況の会社もあり、車の台数を減らし対処しているが、受注が減る一方である。この先もっと仕事量が減るのではないかと予想される。
		ゴルフ場	新型コロナウイルスの感染が広がっている。12月、1月の都心からのGoToのキャンセルが出始まっている。
		写真店	外出や県をまたぐ移動の自粛が人々の心の中にあるので、不安感がある中、3か月先も同じように思う。
		写真店	新型コロナウイルスの影響でまた悪くなりそうだ。
		企業	水産業関係者
製造業（食料品）	コロナ禍対策で人の動きが制限され、経済全体が停滞する。		
製造業（食料品）	新型コロナウイルスの第3波による。失業が増え、景気が悪くなりそうである。		
製造業（輸送用機械器具）	国内では新型コロナウイルスの第3波に見舞われており、連日感染者数増加に歯止めがかからず、遂に感染者が多い都市での行動規制が開始され始めた。今後の行動自粛や規制内容にも左右されるが、景気後退は避けられないものと推定される。一方、海外では高齢者や患者を対象としたワクチン投与が開始され始めている。まだまだワクチンの副作用等の確認が必要とされるも、日本での適用開始による経済活動活性化への起爆剤となることを期待したい。		
建設業	先行き設備投資等の減少も見込まれることから、景気は下降していくと思う。		
雇用	求人広告	新型コロナウイルスの問題が解決しない限り回復は難しい。	
	公共職業安定所	GoToキャンペーンにより、飲食店や小売業、宿泊業等で改善の兆しが見えてきたが、新型コロナウイルスの感染拡大でGoToキャンペーンが停止したことにより、落ち込みが予想される。製造業関係についても新型コロナウイルスの感染拡大の影響や貿易摩擦、原油素材価格の動向により改善が見込めず、求人には至っていない状況と思われる。	
	求人開拓員	新型コロナウイルスが今後3か月先で改善する傾向は見られない上、景気も良くなるとは考えにくい。	
悪くなっている	家計	スーパー	世の中の状況を見ても、景気が良くなる要因は少なく、食品は影響が最後にくると言われるが、購入単価や点数に影響が出てくると考えられる。
		酒・各種商品小売業	新型コロナウイルス感染者の増加で出歩く人が減少する。12月は飲食店の忘年会の予約が殆どない状態。
		自動車販売店	3か月後に新型コロナウイルスが下火になったとしても、すぐに景気が回復するとは思えない。
		コンビニエンスストア	新型コロナウイルスの感染拡大で悪くなっていると思う。
		小売業（酒類）	飲食店の得意先が景気回復しなければ悪くなるだけである。
		スナック	新型コロナウイルスのワクチンが行き渡らない限り良くなるはずがない。
		ラーメン店	新型コロナウイルスの終息の見通しが見えない。
		観光型ホテル	先行予約が全く無く、先行きが不安でしかない。
		タクシー運転手	コロナ禍により悪くなっていると判断する。
		企業	製造業（電気機械器具）
製造業（電気機械器具）	2020年度第4四半期から2021年度第1四半期にかけての予算からすると、新型コロナウイルスの影響が続き、現状より落ち込む。		

(2) 県央地域 【先行き】

回答	分野	業種・職種	コメント
やや良くなっている	家計	割烹料理店	もうそろそろ飲食店の景気が回復しないと個人経営の飲食店は生き残れない状態。
		スーパー	GoToキャンペーン停止で消費を行政が抑えてしまったことは大きい。夜間の客数が減少する。
		コンビニエンスストア	タバコ増税等があったが、コロナ禍で客の購入量が増えている。
		小売業	新型コロナウイルスのワクチンへの期待から、やや良くなっていると判断する。
		都市型ホテル	今冬の感染拡大終息後には、多少なり回復傾向に向かうのではないかと感じる。
		旅行代理店	GoToトラベルの再開により経済が活性化する。
		観光名所	3か月先の予約・問合せがあり、今より景気はやや良くなっていると思う。
	企業	製造業(食料品)	この第3波を越えれば、今よりは人・物が動くと思う。
		製造業(金属製品)	夏から秋頃を底に、少しずつではあるが先の案件が出始めている。ただし、単価が下げ止まらないのが不安である。
		金融業	ウィズコロナとしての営業スタイルが確立しつつあり、感染予防しながらの環境が徐々に整いつつあることから、やや良くなっていると判断する。
変わらない	家計	商店街代表者	新型コロナウイルスの終息が見えず、先行きが不透明である。
		小売業	現在、新型コロナウイルスの感染拡大が見受けられており、これ以上拡大してしまうと外出自粛等の対策や自主的に外出しなくなる方の増加が考えられる。そのようなことになると厳しい状況となる。
		スーパー	新型コロナウイルスの第3波が落ち着けば少しは良くなると思うが、当分この状況が続くと思う。
		スーパー	今後の新型コロナウイルス感染症の状況により、景気の良し悪しも変わってくるかと思う。
		家電量販店	コロナ禍の中、今の状況より来客数が増加することは見込めず、減少傾向が想定されるが、耐久消費財の買い替え需要があるため、家電量販店への影響は軽微であると考え、景気は変わらないと判断する。
		自動車販売店	新型車商品もなくまた税制、補助金を鑑みても3月まではほぼ横ばいで推移すると思われる。
		楽器販売	GoToも今一機能せず、景気高揚の雰囲気を感じられない。
		レストラン	予想できないが、良くはならないことは間違いないと思われる。
		都市型ホテル	先の予約においても現状と同じような状況であり、今後大きな伸びは期待できない。
		タクシー運転手	3か月先も変わらず厳しい状況だろう。どうなれば良くなる方向にいくのか見当もつかない。
		タクシー会社	新型コロナウイルス感染症の状況によるが、感染者が増えればさらに厳しい状況になると思う一方、最低限の稼働は見込めると判断している。今後のワクチン等の進展状況によるが、明るい材料もある。経済の流れは下降傾向から上昇に転じるのもワクチン等の進捗によるもの大きいと判断する。
		レジャー施設	新型コロナウイルスの感染状況によるところが大きいと思われるが、まだまだ収束には時間がかかると見込まれ、現在の状況と変わらないと推測する。
		理・美容店	今のコロナ禍の状況が続く限り、何とも言えない。
		ペット美容室	新型コロナウイルスの影響により不景気な職種もあるだろうが、またその逆で景気が上向きな企業も多いのではないかと。
		設計事務所	例年1~2月は仕事の件数が減少するが、現在の傾向がそのまま継続すると予想されるので、景気は変わらないと判断する。
		企業	製造業(食料品)
製造業(一般機械器具)	自動車、中国向け建設機械は動いてきているが、生産に必要な道具の製造までは動きが見えない。		
製造業(精密機械器具)	例年3月は年度末決算の客が多く、予算との兼ね合いから駆け込みの当月受注・当月出荷も見られたが、ここ数年はそれも少なくなった。また、コロナ禍の状況からも、同様になると思う。		
建設業	問い合わせが継続している。		
運輸業(道路貨物運送業)	新型コロナウイルスの感染が拡大しており、貨物の量が安定していない。		
不動産業	時期的なもので需要は出てくると思うが、前年やコロナ前と比較するとどうか。過去のこの時期よりも良くなる要因はないと思われるので、変わらないと判断する。		
工務店	引き続き行動が制限され、人、モノ、カネが動かない。		
雇用	求人広告		経済活動が止まっていると感じる。
	求人開拓員	世界的に新型コロナウイルス対策のワクチンの開発・承認、接種に進展が見られ、全体的な景気は上向きなものと思われるが、当センターにおける求人数、求職者数への波及は具体化していないと思われる。	

やや悪くなっている	家計	小売業	新型コロナウイルス感染者の増加に伴い来客数も徐々に減っている傾向が見られ、寒くなるに従い今後更に感染者が増えてくれば来店客の更なる減少、景気の悪化に繋がるのではないかと予想される。
		小売業	新型コロナウイルスの感染が拡大傾向にあり、消費マインドが低下している。年末年始の消費動向による。
		レストラン	感染の状況によるが、やや悪くなりそうな感じがする。ワクチンもまだまだ先になると思う。
		観光型ホテル	新型コロナウイルスの感染状況次第で需要が変動しやすく、先行きの不透明感が強い。
		バス運転手	感染者数の増加、GoToトラベルキャンペーンの一時停止、年末年始の諸行事の中止等、良い材料が見当たらない。
		観光名所	変化なしである。
		レジャー施設	この先の新型コロナウイルス感染状況に影響されると思われるが、現状では収束に向かうということは考えられない。また、新たな蔓延予防対策の強化もあり得るので、当面は現状維持か、悪化するものと思われる。
		設計事務所	新型コロナウイルスが終息しない限り、景気回復を期待できる要素がないのではと考える。
企業	製造業（印刷・同関連業）	ここにきて新型コロナウイルスの感染拡大が懸念される。	
	製造業（印刷・同関連業）	新型コロナウイルス感染症が全然収まらない状況である。	
	製造業（窯業・土石製品）	3か月先の受注ができていない。	
	サービス業（コンサルタント業）	新型コロナウイルスの影響で、各企業が設備投資を抑えている。	
雇用	人材派遣業	売上増に転じるのはもう少し先に思える。	
	学校就業関係者	第3波以降、また自粛ムードが強くなってきた。キャリア相談やガイダンス、求人の閲覧などの電子化により一定の支援はできているが、対面での支援を求める声もある。また、今後就職活動やインターンシップの移動に制限がかかると活動自体が停滞する恐れもある。	
悪くなっている	家計	スーパー	新型コロナウイルスによる家計収入の低下から、悪くなっていると判断する。
		農産物直売所	買出しにくる個人経営の飲食店の買う量が少なく、忘年会需要がないと危機的状況だというオーナーが多い。
		レストラン	新型コロナウイルスの第3波の影響がある。
		旅行会社	冬期行事のスキー教室、宿泊学習などが軒並み中止になり、景気は悪くなっている。
		タクシー会社	GoToキャンペーンをはじめとする経済対策も中断することで、効果の中折れが見えている。
		道の駅	将来への不安で消費を控えると思われる。また、実際の収入が減ってきていると思われる。
		スパ・銭湯	経済と感染拡大阻止を両立していく方向に進んで行くことによって、増々感染者が増加していくことにより、経済も悪くなっていくように思われる。まずは新型コロナウイルス感染拡大を阻止して経済に向かうというのであれば、少しは良くなると思われる。
企業	建設業	3月までの受注はあるが、その先が見えない。	
雇用	公共職業安定所	求人倍率が低下し、雇用保険受給者の実人員は対前年同月比で11か月連続で増加しており、うち8か月連続は二桁の増加となっている。	

(3) 鹿行地域 【先行き】

回答	分野	業種・職種	コメント
やや良くなっている	家計	日本料理店	冬が過ぎればある程度新型コロナウイルスが落ち着くと思う。
	企業	製造業（電気機械器具）	複数の新規受注案件の生産が開始される予定である。
		製造業（鉄鋼業）	新型コロナウイルスの影響で落ち込んだ需要の回復が見込まれてきた。
		製造業（金属製品）	自動車製造や販売は、新車投入が多くなり、買い替えが多くなりつつある。
		建設業	鹿嶋市では日本製鉄が令和3年1月下旬をめぐり高炉を稼働する。関係会社、日本製鉄の社員、その他多くの会社関係、または関連会社の社員が住宅建築の方もローン減税に合わせて着工すると思う。
	雇用	運輸業（道路貨物運送業）	市内の企業でも止めていた工場を再開するなど、メーカーが動き出したようなので期待したい。
		人材派遣業	製造業が弱含みではあるものの回復の兆しが見られる。
		民間職業紹介業	劇的には変わらないが、順調に良くなると考えている。来年（令和3年）の中頃には新型コロナウイルスのワクチンもあり、更に良くなると考えているし、良くなってほしい。
		公共職業安定所	現在の新型コロナウイルス感染拡大を抑えることが必要である。
	変わらない	家計	スーパー
衣料品販売店			3月は、徐々に気温が上がり新型コロナウイルスが少し収まってくればいいが、一般の方の消費マインドは下がったままだと思う。
家電販売店			新型コロナウイルスの影響により売れている商品群は変わらず、現在の状況から考えて引き続き同様に推移すると思われる。感染拡大が長引くと、現状よりプラスに傾く可能性はある。
農産物直売所			食料は必要なため買物はしてくれるが、新型コロナウイルスで先が見えない。
小売業（菓子類）			新型コロナウイルスの影響もあまり感じなくなっている。良くも悪くも慣れが出ているかもしれない。
小売業（食品）			とにかく特効薬ができれば良くなる。
和食レストラン			おせちの販売も12月で終了。引き続きインターネット販売による味噌煮込みうどん、テイクアウト弁当に力を入れて売上げをカバーしていくことに注力する。コロナ禍の感染拡大もいつまで続くか不透明であり今後3か月は現状と変わらない動きとなると思われる。
海鮮料理店			第一に、新型コロナウイルスのはっきりとした終息がわからない場合は人は動かない。GoToトラベルは良く思われているが、現金が動いている訳ではない。現金になるまで時間がかかる上、手元になれば受ける側は大変である。
道の駅			GoToキャンペーン利用客が減少すると思われる。
レジャー施設			新型コロナウイルスの影響が終了しない可能性が高い。
理・美容店			良くなる材料がないような気がする。早く新型コロナウイルスが終わってくれればと思う。
クリーニング店			やはり新型コロナウイルスで自粛しているので、外出を控えている。先が見えない。不透明で不安だ。
住宅販売会社			コロナ禍は、まだまだ長引く。
企業	製造業（化学工業）	ユーザーの生産の稼働率は横ばいの状況が3か月先も続くと思われるので、景気は変わらないと思う。	
	製造業（鉄鋼業）	今後も受注数が横ばい傾向にあり、変わらないと判断する。	
	製造業（食料品）	ワクチンの接種が始まれば落ち着くと思われるが、すぐに景気が回復するとは思えない。	
	製造業（食料品）	コロナ禍で業種間の業績のバラツキが大きい中で、食料品製造業は比較的安定推移が見込めるが、マクロでは景気低迷状態が持続すると思われる。	
	運輸業（道路貨物運送業）	現状の動向から、しばらくはこの状況で推移すると思われる。	
	金融業	回復基調が続くと思うが、インフルエンザや新型コロナウイルス感染拡大に懸念を抱く事業者や消費者が大半で、設備投資や個人消費には未だ慎重な意見が多く、大きな景気回復は期待できない。	
	保険業	災害、事故が少なくなっている。	
	火力発電所	好転する材料が見当たらない。	

やや悪くなっている	家計	商店街代表者	ワクチンの接種を受けるには、まだ時間がかかりそうで、感染拡大も収まる感じも見えてこない。又、公的金融機関等からの融資拒否により、県の応援貸付相談も増えつつあるので更なる悪化になることを懸念している。
		コンビニエンスストア	茨城県も自粛の要請があり、新型コロナウイルスも過去最大に増えているのでしばらく景気は悪いのではないかと思う。
		コンビニエンスストア	夜間、飲食店の閉店や時短営業が少しずつ見られる。
		小売業（薬品店）	潮来市プレミアム商品券の利用期間が終わる。
		小売業（薬品店）	新型コロナウイルスが収束しないと患者の受診抑制が続くと感じる。
		小売業（書店）	ヒット作が完了になり、悪くなると思う。
		洋食食堂	新型コロナウイルスの影響で先の見えない毎日が続いている。さらに新型コロナウイルスの感染が拡大するのではないかと不安が消えない。
		割烹料理店	新型コロナウイルスの感染の増え方次第だが良くなる材料が見当たらない。
		観光型ホテル	新型コロナウイルスが今後3か月先収束しているとは思えないため、だんだんと悪くなっていくと考える。
		都市型ホテル	新型コロナウイルスの影響でやや悪くなると思う。
		ゴルフ場	前年対比でも予約推移が弱い状況。新型コロナウイルスの影響が大きい。
	ゴルフ場	新型コロナウイルスが再び流行してきており、コンペ利用がさらに減少し、客単価の下落が進むと思われる。	
	企業	農業関係者	自粛ムードが広がっており、消費者も夜の飲食など外食を控えており、そのことが農産物の消費にも影響し、今後の農作物販売にも影響するの心配である。
		製造業（ゴム製品）	新型コロナウイルスの影響がある。
不動産業		令和2年12月初旬から新型コロナウイルスの感染者が毎週、新記録とテレビ等で放送しており、この先どうなるのか本当に心配している。早く春にならないかと思っている。	
不動産業		3か月後の頃は、その期間が今回の景気不良の底だと思ふ。そのような肌感覚である。	
雇用	学校就業関係者	採用試験で不合格になるケースが増えている。企業も人材確保により慎重になっている。	
悪くなっている	家計	スーパー	昨年のキャッシュレス還元、3月からのコロナ禍による売上の大幅な上昇を受けて、昨年対比は大幅な減少が予測される。
		農産物直売所	第3波の影響が出ると思う。
		小売業	特別な要因がない。
		運転代行	新型コロナウイルスが落ち着くまでは良くなると思う。
		旅行代理店	新型コロナウイルスで、見通しが立たない。
		タクシー運転手	新型コロナウイルスの感染拡大にあたり、活動の時短や自粛等により、悪くなっていると思う。
	住宅販売会社	チラシ・DM等で情報発信しているが反響がなく、商談までいかない。	
	企業	建設業	新型コロナウイルス感染が流行し、第3波の影響は大きいと思う。
サービス業		日韓関係に改善の兆しが認められず、新型コロナウイルスの影響が顕在化してくる状況であり、経済自体が委縮しつつある。また、鉄鋼業界では構造的な要因によって、国内製鉄所の設備停止や閉鎖が発表されており、新年度にかわると実行段階に移るなど、景気が好転する話題が非常に少ない。	
雇用	求人開拓員	良くなる傾向が見られない。求人の申し込みがあっても、応募者がいない。	

(4) 県南地域 【先行き】

回答	分野	業種・職種	コメント
良	家計	テーマパーク職員	現在コロナ禍でアウトドアに注目が集まっている。現在の来客状況や様子から、3か月後はアウトドア。屋外レジャー施設としては景気が良くなっていると思われる。
やや良	企業	製造業（飲料）	良くなってほしい。
		製造業（その他）	今現在より良くなることを期待したい。新たな取引に期待したい。
		製造業（非鉄金属）	コロナ禍からの回復度合いがさらに進む。
		建設業	3か月後は年度末で忙しいのは当然だが、今月は多くの見積り依頼が来ているので3か月後の景気はやや良くなっていると思う。
変わらない	家計	家電販売店	新型コロナウイルスなど先が不透明である。
		スーパー	新型コロナウイルスの影響で大きく変化する。
		スーパー	外出の自粛等がまだ続いていると考えられる。消費意欲が高まる要因が考えられない。
		スーパー	新型コロナウイルス次第だが、3か月先が大きく変わるとは思えない。来店頻度を減らし、買い溜めする消費行動は、ある程度定着しているのではないか。
		コンビニエンスストア	新型コロナウイルス次第である。
		家電販売店	新型コロナウイルス等の影響がある。
		衣料品販売店	新型コロナウイルスの状況がしばらくは変わらないと思う。
		和食食堂	景気浮揚の材料がない。
		洋食食堂	これ以上下がらない。
		寿司店	来店する客も出前も決まった客であり、変化がない。
		タクシー運転手	人足が戻ることはないと考えられる。これから春にかけて一般の客がどう動くかが鍵になってくるのではないかと。企業では急に戻ることはない。
		タクシー運転手	新型コロナウイルスが収まらない限り、景気回復は望めない。
		ゴルフ場	ゴルフ場の会員は来場回数も多く、予約も順調だが、コロナ禍のためビジターの予約減少は否めない。
	ボウリング場	景気が悪くなることがあっても良くなることはないと思う。ワクチンの普及により回復方向に変化することを願いたい。	
	レジャー施設	来場者数・売上が増加するような見込みがない。	
	企業	農業関係者	コロナ禍の解消見込みが立たないことには景気が良くなることは考えにくい。
		農業関係者	今後の景気回復の要素が見当たらない。
		製造業（食料品）	新型コロナウイルスのワクチンが接種できるようになるまでは、景気は低迷し続けると思う。
		製造業（一般機械器具）	変わるような材料がない。
		不動産業	賃貸管理業をしているが、問合せ、案内、契約がある。
運輸業（倉庫業）		特定の種類は増加傾向であるが、それ以外は減少すると思われる。	
雇用	求人広告	県南地域を中心に新型コロナウイルス感染者の増加が散見され、例年であれば年末年始の休暇や帰省、忘年会や新年会等、『人』の移動に伴い繁忙時期となるが、新型コロナウイルスの影響はまだまだ続くとみられ、消費行動は抑えられており、先行きの景気は悪化したままで変わらないと思われる。	
	公共職業安定所	客数の減少に伴う売上低迷の傾向は、3か月先も続くと考えられる。	
	学校就業関係者	新型コロナウイルスの感染状況による。業務の関係から、学校求人からの判断となるが、来年も求人数は大きく変わらない見通しである。	

やや悪くなっている	家計	スーパー	新型コロナウイルスの影響で悪くなっていると思う。
		コンビニエンスストア	例年、年末年始にはお参りや日の出を観にくる観光客が多いが、今年度はコロナ禍ということもあり、観光客や売上げの減少が予想される。
		農産物直売所	新型コロナウイルスの自粛が解かれても先が見えず、お金を使わなくなる。
		小売業	新型コロナウイルス感染の第3波の拡大と各種GoTo施策の停止などのほか、政府及び各行政首長の外出自粛要請の影響もあり、ゆったりした買い廻りの減少が顕著で、施設に滞在せず、目的買いの傾向を見せている。
		小売業（生花店）	3密回避のため、集会や会合が減る。また、正月を迎えても、帰省や外出の自粛、外気温の低下で、来店客数が減るものと判断する。
		小売業（米穀）	町内会、事業所、保育園等の年末年始の餅つき、あわんとり等のイベントが全て中止となっており、結び付きの飲食店においても、時短営業、忘・新年会の予約等で厳しい状況である。
		都市型ホテル	3か月先ではまだ景気の回復は厳しいと思われる。5～6月頃には今よりはまだ良くなっているのではないかと客からもよく言われるケースが多い。宴会などの予約もその頃になると実施を検討されている様子である。
		タクシー運転手	最初の新型コロナウイルスの時よりは経済は動いているが、まだ影響がある。
		タクシー会社	冬は新型コロナウイルス、インフルエンザ、ノロウイルスが流行するので、出かけなくなりそう。
		サービスエリア	新型コロナウイルス感染者増加を受け、外出の自粛要請やGoToキャンペーンの見直し起きた11月中旬辺りから、客の動きが鈍くなってきている。11月上旬辺りと比べ、1～2割売上げにも打撃を受けており、今後ウイルスが活発化すれば、さらに景気が悪くなると予想される。
		ゴルフ場	新型コロナウイルスに対する緊急事態宣言の一步手前という現在の状況から見て、予想は大変難しい。3月頃の予約は入ったとしても、状況が悪くなれば、数週間前、悪ければ前日にキャンセルが出る。新型コロナウイルスの状況次第というところである。
		理・美容店 設計事務所	消費の落ち込みや収入の減少によりやや悪くなっていると判断した。 景気、雇用の回復、伸びが未だ見通せない。
企業	製造業（食料品）	小売の客は贈答用も含めて、過去の景気から勘案すれば変わらないと判断する。業務用（主に飲食）の客は、感染者の増減が大きく関与すると思われる。減少する事が望ましいが、難しいと判断するので、売上げは減少するだろう。業務用の落ち込みの方が大きいと思うので、やや悪くなっていると判断する。	
	製造業（印刷・同関連業）	新型コロナの感染状況が悪化しており、今後も政府の政策やワクチン接種時期などが不明確であるため、改善の兆しが見出せない。	
	製造業（窯業・土石製品）	地方自治体の財政悪化により公共事業の発注が遅れるとの話を聞く。	
	製造業（窯業・土石製品）	新型コロナウイルスの感染拡大が収まらないと今より状況は悪くなってくると思われる。	
	建設業	新型コロナウイルスの感染が拡大しているので、良くなるとは思えない。	
雇用	民間職業紹介業 求人开拓員	取引先の業績が回復せず、採用計画も見直しが多い。 新型コロナウイルス感染症拡大による影響が予想される。	
	和食食堂	新型コロナウイルスの影響がある。	
家計	都市型ホテル	コロナ禍で、観光や宿泊施設など大きく減少している業界で、軒並みゲストハウスは閉館、営業している同業もボーナスカットや給与カットも当たり前の業界で、更に悪くなる一方である。雇用の確保に努める企業も多く見えるが、数か月後は人員整理もやむを得ない状況と思える。ここ数年の景気は悪くなっていると思える。	
	都市型ホテル	人が動けばウイルスが拡散される。新型コロナウイルス感染者数は今後も増え続けると思う。常連客や取引会社などは東京や神奈川が多く、茨城地域にとって不安材料のひとつである。政府のGoTo事業が感染拡大の要因なのだから良くなる訳がない。	
	タクシー運転手	新型コロナウイルスの終息が見えない限り、良くはならないと思う。	
	理・美容店	新型コロナウイルスの中、悪くなる以外ないと思う。ワクチンがどの位普及するかによるが、しばらくは悪い方に進むのではないだろうか。	
企業	不動産業	新型コロナウイルスの影響で飲食業等には大きくテナント賃料の引下げにも応じざるを得ないのが現状。これが当面続くとなると閉店する店舗も一気に増加するのではないかと感じる。	

(5) 県西地域 【先行き】

回答	分野	業種・職種	コメント
やや良くなっている	家計	商店街代表者	学生服等の売上げに期待する。
	企業	畜産業関係者	新型コロナウイルスの影響を中心として希望的観測からやや良くなっていると判断する。
		製造業（非鉄金属）	販売先の稼働が現在そのまま継続すると予想される。輸入塊の入荷は少ないままと予想されるため、国内の工場は稼働が継続される。
		製造業（化学工業）	新型コロナウイルスの影響からの需要回復が更に進む。
		製造業（窯業・土石製品）	停滞した需要が回復すると思う。
		不動産業	賃貸で法人の異動が少なかったが、来春くらいからの問合せが多くなってきた。
雇用	人材派遣業	大手車種メーカーが年明け1月から増産の話があり、関連するベンダーも含め長期的なポジションの採用が見込める。	
変わらない	家計	コンビニエンスストア	主に新型コロナウイルスの影響次第という環境にあり、ワクチンが完成して接種が始まらない限りは現状のニューノーマルな生活環境が大きく変わることはないため、景気は変わらないだろうと判断。
		農産物直売所	新型コロナウイルス次第である。
		メガネ・時計販売店	新型コロナウイルスの感染状況によると思う。
		旅行会社	増々感染者が増えると予想されるので、更に消費行動にブレーキがかかると思われる。
		タクシー運転手	とにかく飲食店の元気がない。居酒屋のママを乗せても溜息ばかりで、笑顔も消えた。新型コロナウイルスが終息すれば飲み屋の元気も戻るだろうか。やはり3か月後も景気に変化はないと思う。
		道の駅	新型コロナウイルスの感染状況次第であり、客の様子からでは判断できない。明るい春を迎えたい。
		ゴルフ場	予約の状況から変わらないと判断する。
		理・美容店	やはり新型コロナウイルス第3波の影響は大きくあると思う。対策は講じているが、今月の営業は不安を感じる。同じ地域に感染者も出てきているため、客が行動を自粛すると思うので数か月は影響があると思われる。
		商店街代表者	やはり、新型コロナウイルスの流行次第で変わりそうである。第3波の影響で、外食の機会が減り、忘年会や新年会も企業や各種団体等で控える傾向にある。なお、一部では、感染防止対策を実施した上で物産催事なども開催されており、売上の下支えとなっている。結局、新型コロナウイルスに対する効果的なワクチンや治療薬により終息に向かえば、景気は急速に良くなることが推察される。
		設計事務所	長期的な業務であるため、現段階で動きがあるものが受注につながるか不明である。
企業	製造業（窯業・土石製品）	新型コロナウイルスの影響を受ける前の水準に戻るのには難しい。	
	製造業（電気機械器具）	新型コロナウイルスの影響により、景気はまだしばらく悪い状態が続くと思われる。	
	製造業（金属製品）	新型コロナウイルスでどうなるか分からない。	
	製造業（電気機械器具）	コロナ禍が収束しない限りは現状が継続すると見込んでいる。	
	建設業	特に変化を感じない。	
	金融業	現状、景気は回復してきているものの、景気は新型コロナウイルスの感染状況に大きく左右され、3か月先もこの感染の状態が続くと思われる。	
雇用	人材派遣業	派遣先から、景気は変わらないと聞いている。	
	求人広告	客と話をしても、景気回復の好材料が見当たらない。現状維持が精一杯なのかとの印象を受ける。	
	学校就業関係者	求人企業数が昨年の同時期より約30%減少した。就職活動が厳しい状況にあると思われる。	
	求人开拓員	新型コロナウイルスの第3波の収束が見えてこないと分からない。	

やや悪くなっている	家計	家電販売店	新型コロナウイルスのクラスターが坂東市でも発生している。客の入店が19時以降は極端に減少している。
		日本料理店	忘新年会が獲得できない。自粛ムードが高まりそうである。新型コロナウイルスが収束しないとますます悪化しそうだ。
		食堂	自粛要請が出て外出を控えるようになってしまったと思う。
		和食レストラン	先行きの見通しが難しい状況である。
		道の駅	客の会話と平日の来客数からやや悪くなっていると判断する。
		ゴルフ場	コロナ禍による外出自粛により、やや悪くなっていると判断する。
		レジャー施設	冬の間はコロナ禍の影響を受けてしまうと思われるが、ネットショップの拡充など、できる限りの対策もしていくので、今年の春先ほどの影響はないと思われる。
		設計事務所	しばらくは様子見が続く。
企業	製造業（印刷・同関連業）	デフレスパイラルが新型コロナウイルスの影響で加速している。	
	製造業（金属製品）	3か月先は年度末になるので、さらに発注量は見込めない。	
	建設業	このところの原材料の高騰等により、利益率は減少傾向にあり、3か月先もこの傾向は続くと思われるので、景気はやや悪くなる。	
	サービス業（コンサルタント業）	新型コロナウイルス次第だと思うが、年末年始の会合宴会等軒並み中止となっており、接待を伴う飲食店でなくても売上等が減少することが確定している。	
悪くなっている	家計	商店街代表者	ワクチン接種がスムーズにできると嬉しいが、無理なような気がする。
		スーパー	茨城県南地区の感染状況が報道されて、近いうちに自分のところにも来るだろうとの不安から、年末年始は予想がつかない状況となっている。客との会話も、ほぼ新型コロナウイルス感染状況の話になっている。
		スーパー	客の節約生活志向の強まりで消費悪化へ向かうと思う。
		製茶販売	卸業者で取引相手からの入金が遅れるなどして、来月まとめて払うから給料の1か月分を待って欲しいと言われた人がいるらしい。これからもっと増えるケースだと思う。
		レストラン	今、町の支援事業で来月までクーポン事業があるので助けられているが、その先は確実に売上げが下がると思う。
		都市型ホテル	新型コロナウイルスの影響により、悪くなっていると判断する。
		旅行代理店	3か月後は企業の決算だが、どの企業も四苦八苦していると思う。私達のような旅行のバスを主とした観光業は、これから生き残りが大変かと思う。3か月後は廃業しているかわからない状況。
		タクシー運転手	新型コロナウイルスが終息しない限り、良い方向にはならない。
		クリーニング店	新型コロナウイルスの影響がますます酷くなる気がする。早くワクチン接種ができるようになれば変わると思う。
		企業	製造業（窯業・土石製品）

Ⅲ 景気の判断コメント — 3 その他の意見

(1) 県北地域

分野	業種・職種	その他の意見
家計	商店街代表者	客数は少ないものの、客単価が上がっている。
	商店街代表者	飲食店で閉店する店が一段と増えている。
	スーパー	知人の話では、洋服などの購入頻度が少なくなったと話していた。
	スーパー	最近、若い人も含めて夫婦一緒の方が多く見られる。二人で相談しながらの買物が多く見られる。良い商品も買うが、安い方でいいと話す声も聞こえる。
	酒・各種商品小売業	国や市が様々なキャンペーンをするので、上手く乗れば助かる企画も多い。
	コンビニエンスストア	外食を抑える等の行動変化から、在宅消費は増加している傾向はみられる。
	衣料品販売店	このような長期にわたる売上げ減少は経験がない。
	コンビニエンスストア	国道118号線のバイパスの工事と災害復旧工事の工事関係者が来店して賑わっている。
	小売業（弁当・惣菜店）	コロナ禍における新しい生活様式が一応の定着が見られる。とはいえ、TPOに合わせた正しい衛生知識が普及しているとは思えない。ミスリードしている情報が経済に悪影響を与えていると思われる。
	小売業（時計）	外に出掛ける機会が少ないせいか、現金は持っていると思われる。
	ラーメン店	新しいことに挑戦する人たちが増えたと思う。指先だけで効率よく稼ごうとする人たちがもっと増えていくだろう。
	スナック	家族での外食等はそれ程減っていないように見えるが、居酒屋やスナックは客数が激減している。
	ラーメン店	周辺は高齢者が多いので、来店が減ってきている。
	観光型ホテル	地域によって異なると思うが、行楽シーズンが終わり閑散とし、例年であれば忘新年会で賑わいがあり活気に満ち溢れている。今年度は厳しい状況となる。
	ドライブイン	12月に入って県南の客がみえなくなっていて、新型コロナウイルスの影響があり、自粛されているのがよくわかる。
	レジャー施設	10月、11月の利用者数は例年より多く、サービス業にとってはGoToキャンペーンの恩恵は大きかったと実感している。
	ゴルフ場	宿泊はGoToで増えてきている。プレー人数は増えているが、日中のパーティ等の飲食代がほぼない。
	ゴルフ場	コロナ禍で第3波が懸念される。健康管理の重要度が人々に刻み込まれ、健康事業としてのゴルフ効果が問われ始めている。
	ゴルフ場	GoTo停止で、年末年始は日帰りゴルフに予定を切り替えたとの予約問合せが数件ある。
	写真店	11月、12月にしては温暖な日々が多い。野菜類が比較的安価で農業の方は大変だろうと思う。
住宅販売会社	東海村限定かもしれないが、原電事業所による再稼働に向けての工事が始まり、工事従事者が増え、集合アパート、特に単身世帯の物件は空きがなくなり入居率が高まっている。住宅に関しては、コロナ禍になり総合展示場へ行く方が少なくなり、第一順位で当社に来てくれるため、受注が増えている現象が起きている。	
企業	林業関係者	価格の変動により大きく振り回されるために材量確保に各社苦勞しているが買い入れ体制は出来ているので今後、素材確保が出来れば景気は上向くと感じる。
	水産業関係者	業界視点としても新型コロナウイルス主体で景気が動いている印象しかない。
	製造業（電気機械器具）	新型コロナウイルスによって移動制限があり、県内の移動となっている。
	製造業（電気機械器具）	新型コロナウイルスの影響で、売り上げが伸び悩んでいる。
	製造業（電気機械器具）	会社で忘年会や新年会を禁止とする指示があった。飲食店関係の経営は大変厳しい状況だと思う。
	製造業（食料品）	スーパーの販促が激しい。スーパー、ドラッグストア、ホームセンター、コンビニの競争で価格も安くなっている。
	製造業（化学工業）	観光地や公共交通機関の人出が増えてきている。
	製造業（一般機械器具）	新型コロナウイルスの影響による国内景気の低迷を懸念する。中国においては上向きであるが、国内が厳しくなると想定している。
	製造業（輸送用機械器具）	欧州や北米の一部、直近では日本も電動車両（ガソリン車以外）への切替方針が打ち出された。従来のガソリン車に対し電動車拡大に伴う経済環境への変化を予測し、その対応への準備を早い段階から進める必要があると感じる。
	製造業（精密機器）	年末になって、年内の仕事が12月25日までの会社もある。仕事が少ないのだろうか。
	製造業（精密機器）	スリム化など、様々なことで削減しようとする動きがあるように感じる。
	金融業	スナック等の接客を伴う飲食店について廃業に向けた動きが見られる。また、飲食業及びサービス業において、支店を閉鎖または売却し、経営資源の選択と集中を行う動きが見られる。
	不動産業	新型コロナウイルスによるニューノーマル時代に突入し、個人が家での過ごし方を重視する傾向にある。取引のある生鮮スーパーは、売上絶好調。一方飲食店は悪い状況。不動産業者として家賃の減額要求が多く、対応に苦慮している。人の行動が制限されているうちは、全体的な景気持ち直しは厳しい。
	情報通信業（情報サービス業）	飲み会の自粛や集合での制限等すっかり慣れてしまった。しかし感染リスクについては、自分や周りが、いつ感染しても不思議でないような気がしている。
雇用	求人开拓員	水戸市（内原地区）在住であるが、大型ショッピングモールなどは各種感染対策は取っているものの、新型コロナウイルス流行以前の人出で3密状態である。

(2) 県央地域

分野	業種・職種	その他の意見
家計	商店街代表者	大手の取引先では、様々なことに関して見直しを行っているところが多く、変化が激しくて対応するのに大変である。
	小売業	県内での感染拡大により、外出自粛傾向（特に高齢者）が見られ、来店客が減少している。
	小売業	都内で買物していた方々が地元で買物をしている。また、都内の方が東京で買物をするのが怖くて、地方に出て買物をしている姿も見られる。
	割烹料理店	知り合いの店の多くが持続化給付金が底をつき、これから先店を閉めてしまうところが大半である。
	スーパー	苦戦している業態からの転職者が増えたことにより、求人に対する応募が増えた。
	スーパー	季節感のある酒類（ボージョレ・ヌーヴォー、日本酒のひやおろし、初しぼり等）が全然売れなくなっている。祭りムードが全くななくなっているからだと思う。
	スーパー	食品関係の店舗は巣ごもり需要の影響もあり好調に推移しているが、飲食やファッション、雑貨、サービス系の業種は、3月以降変わらず非常に厳しい状況である。国や県による継続的な支援を強く希望する。
	小売業	年配者の旅客が多く、少しずつだが景気の回復を感じる。
	農産物直売所	干し柿、たくあん大根を今年から自宅で手作りするという人からの注文が増えた。
	レストラン	GoTo関連のチケットの利用が増えた。
	都市型ホテル	倒産する施設が出てきている。
	都市型ホテル	今月に入り、宿泊、レストランの客数も先月までと比べて少なくなっている。
	観光型ホテル	新型コロナウイルスで首都圏の感染者数が多くなるとキャンセルも多くなる。ただし、今のところ受注数とキャンセル数はほぼ均衡している。
	旅行代理店	全国的な新型コロナウイルス感染拡大の影響が出てきている。仕事の内容もウィズコロナを意識したものに急速に変化している。
	旅行会社	早く新型コロナウイルスが終息しなければ景気が良くなる。
	バス運転手	休業手当は支給されているものの、減収は避けられず、会社を退職せざるを得ない者が出てきている。
	タクシー運転手	10月までは雇用調整助成金を頂いていたが、11月からはそれもなく生活に困窮している。繁華街への人の流れが悪すぎて話にならない。
	タクシー会社	同業者を含めて、廃業の話が多く聞こえてくるようになって、不安感が増してきている。
	タクシー会社	常連客の通院が週一回の利用から月一回の利用に減少している。水戸駅の乗降客が20%減少し、今後も減少傾向になると判断する。飲食店への乗降客が減少、特に夜の飲食店への送迎は80%減少している。高齢者の外出（通院・買物・旅行）が減少している。以上から、景気動向は下降傾向を維持するものと判断する。
	道の駅	5月から10月頃までは、自粛に伴い家で食事のプチ贅沢を取り入れていたのが、新型コロナウイルスの感染者が前回は上回り最多を更新していることで、プチ贅沢もしなくなってきた必要最小限の買物しかなくなってきた。
スパ・銭湯	新型コロナウイルスの中、男性は少しずつ戻って来ているものの、女性は慎重度が高いので戻りは低い水準にある。	
ペット美容室	景気の差が激しい気がする。政府は庶民の生活をきちんと鑑みて、何が足りないか現実を見るべきである。官僚は一般市民の中で生活をしてみてはどうかと提案したい。コロナ禍の中、皆それぞれに工夫して頑張っていると思う。	
設計事務所	リフォーム事業者は、人の出入りのために受注のキャンセルがあると聞く。	
企業	製造業（食料品）	ニューノーマルづくりに力を入れる企業が多く感じる。
	製造業（印刷・同関連業）	業種業態様々あるが、皆四苦八苦している。先が見えない。
	製造業（印刷・同関連業）	客との打ち合わせの中でも、良い話が出ない。やはり新型コロナウイルスが収まらないと変わらないというような話であるかと思う。
	製造業（一般機械器具）	新型コロナウイルス第3波の影響か、顧客の工場（県南地域）でも感染者が出ており、打ち合わせや納品業務の遅れが出ている。
	製造業（精密機械器具）	海外輸出先市場として、韓国、台湾、中国、ASEAN地域を最優先としてきたが、最近ロシアからオファーがあり、新規代理店先として契約し、デモ用のサンプル製品を出荷した。今後ある程度の台数が期待出来そうである。
	建設業	社会を支える基幹産業は動きが活発に感じ取れる。
	運輸業（道路貨物運送業）	外出の自粛が続く中、巣ごもり需要が引き続き増えると思われる。
	金融業	飲食店に関しては未だ新型コロナウイルスの影響が大きく出ており、休業・廃業が後を絶たない。建物を解体し、更地になった所もある。また、窓口への来店客も減った。
	建設業	客の中で葬儀の方がいるが、家族葬の計画（建築計画）があつたが中止になった。新型コロナウイルスで先行きが見えないと言っていた。
雇用	求人広告	お金を心配をする人が増えたと感じる。
	公共職業安定所	当所において、今月業況調査を実施し、現在集計中である。
	求人開拓員	ワクチンをはじめとする新型コロナウイルス対策進展への先行期待により、世界的に過去最高の株価水準となっている。ただし、このことが実態経済にどのような形で反映されているのかは見えていない。

(3) 鹿行地域

分野	業種・職種	その他の意見
家計	商店街代表者	市のプレミアム付きクーポン券事業の1次～3次販売も落ち着き、事業者への換金の作業も順調に行っている。登録加盟店も450社に上り、今回は大型店を除いているため各事業者への集客力に一役貢献できているのではと感じている。しかし、外出自粛要因等により量販店やスーパー等についても全体的に賑わっているという印象はなく、コロナ禍前の日常に戻るのはまだ時間がかかりそうである。
	衣料品販売店	昨年の中頃は消費税増税、暖冬で単価の高い冬物が売れず厳しかったが、今年は新型コロナウイルスの影響で売上げが立たない。
	農産物直売所	県外の客が減っている。
	小売業（薬品店）	飲食店等の客数減少が著しい。
	小売業（食品）	業種によって違いがあるが、スーパーなどは良く見えるが、小売業の個人事業者は厳しいと言っている。
	小売業	当社は物販店で、個人顧客と法人顧客がいるが、法人顧客に景気状況を尋ねると、ほとんどの方が厳しいと言っている。また、買物に対してシビアな感じがする。
	和食レストラン	在宅で食事を楽しむ人が多くなったと思われる。テイクアウトの弁当や味噌煮込みうどんのネット販売は好調。
	洋食食堂	コロナ禍で飲食店への風当たりが徐々に強くなり、特に午後8時以後の夜の営業に支障をきたしている。また、スタッフの確保が難しい。派遣切りの話も聞くが、当店にきてほしい。
	日本料理店	夜がメインの店は閉めてしまったか週に3回ほど営業している所が多いので、飲食店は厳しい状況である。
	海鮮料理店	毎日新型コロナウイルス関係の情報が入るが、客というより店側も未だにキャンセルが続く、継続できるのか。景気の良い店はない。
	観光型ホテル	多少予約が入ってもキャンセルになるなどがあり、利用者も不安が多いようである。
	観光型ホテル	自身の給料面からみても、残業代が出なかったりと給料が下がっているため、身の回りの方々でも同じようなことが言えると思う。そのため、外出や出費を抑える傾向にあると考える。
	運転代行	特徴的な動きは見られない。景気の回復はまだまだ時間がかかり、期待できない。先が読めず、不安を感じる毎日である。一日も早い景気の回復を願っている。
	タクシー運転手	再び出張者数が徐々に減り、各イベント等も中止や延期の発表が目につく。
	ゴルフ場	近隣の地域でも外出自粛等が発令されている。
企業	理・美容店	皆そうだと思うが、仕事の量が減って残業代が稼げないという話も多く聞くようになった。
	クリーニング店	都会など製造会社で働いていた外国人らが新型コロナウイルスなどで雇い止めになった。近くの農家のところにきて働いている。前回3年間日本で働いていた外国人がまた日本で働いている。世界的に新型コロナウイルスの影響が大きい。
	住宅販売会社	グリーン住宅ポイント制度が今月から始まったので、関心度を広めてアピールしたいと思っている。
	農業関係者	最近、外出して買物などに出かける機会が減り、自粛することは大きなことであるが、人の移動が減ったため、景気への影響に直結すると感じる。
	製造業（化学工業）	定額給付金の支給前後は、給付金で何か購入する話をよく聞いたが、今では聞かなくなった。
	製造業（食料品）	歳暮を贈る人が少なくなった。
	製造業（食料品）	主要取引先のリモートワークや出張禁止が続いており、新型コロナウイルス対応のワクチン接種で感染者の減少が見られるまでは景気浮揚は図れないのではないかと。
	製造業（電気機械器具）	一見、ある程度復調したようにも見えるが、その差は業種によって激しく、飲食業や観光業を中心に非常に厳しい状況に思える。
	製造業（金属製品）	観光業関連の方はとても大変だと思うが、AI、IoT、IC、5G、ロボットなどの新しいメニューに業種を変えた企業はとても忙しくなっている。
	建設業	感染が身近に迫っているのをひしと感じる。
雇用	運輸業（道路貨物運送業）	ドライバーの求人で、未経験の応募者が増加している。
	金融業	先行きの見通しが立たず、精神的に追い詰められている事業者も多い。資金繰りの相談は当然であるが、事業の総合的なサポートや、ビジネスマッチングの仲介機能を強化し全力で事業者支援にあたりたい。
	保険業	ゴルフ場が混雑している。
	不動産業	不動産と思えないような価格帯で考えている客層が非常に多く感じられる。例えば、土地50坪位、建物10～20坪位で100万円から200万円止まりほどの中古物件の客。一部業者の考え方、集客単価等も考えられる。希望としてはもう少し高めめの物件、例えば500万円から1000万円ほどで、地域としてもそのような購入客層を集客していきたいと思っている。
民間職業紹介業	新型コロナウイルスの関連で、光触媒に対する注目が集まり、企業内で開発に力を入れている話を聞くようになった。また、車関連では日産の製品の動きが良くなっており、携帯電話、半導体関係も動きが見えてきている。	

(4) 県南地域

分野	業種・職種	その他の意見
家計	スーパー	相変わらず、メディアには左右されやすいと思う。
	コンビニエンスストア	コンビニチェーンでは、量が多く、値段の張る商品の販売が振るわず、値段の安い弁当、パンなどがよく売れているような感じがある。また、例年に比べてクリスマス等の予約も少なく、パーティーや親戚の集まりというものも減少しているように思う。
	コンビニエンスストア	鮮度が長く、比較的味も良い商品を求められる人が増えた。自身への投資が衣食住に反映してきている。
	農産物直売所	12月7日現在で、飲食店は自粛営業で忘年会や新年会が絶望的になった。予測としては、景気は回復しないと思う。
	小売業	客の滞留時間が大幅に短くなっており、かつ夕方以降の入店数も大幅に低下し、特に夜のレストラン等の飲食関連が苦戦している。密を防止する観点での元旦の福袋販売も、Web予約や販売時期の変更、福袋そのものの販売取り止めなども影響しそうである。
	小売業（生花店）	不動産業従業員からの情報で、飲食店の家賃値下げ交渉が11月末から相当数発生しているとの情報があった。当方所有の賃貸でも、家賃滞納が実際として発生している。また、中古車買い取り業者で、海外輸出専門業者は、新型コロナウイルスの関係で車が動かないとの話もあった。このほか、ナイトクラブ経営者がそば店を始めたとの情報もあった。
	衣料品販売店	自粛が長引くと、そのストレス発散のために来店客数が多くなる傾向がある。しかし、あまり消費はしない。
	小売業（米穀）	「年賀状、辞退させていただきます」のハガキが3通届いた。年々減少傾向にある年賀状だが、今年はさらに減少が加速するだろう。
	洋食食堂	皆が特に困っているようには感じられず、変わらず生活している毎日。リフォームしている店舗が多い。建具屋も忙しいと言っている。
	都市型ホテル	先日、閉館となったゲストハウスに伺ったが、コロナ禍で件数、人数減と非常に厳しい状況となり閉館したが、その後の店舗の処理についても業務が多忙、先々の見通しなく虚しく感じられた。こういう中でも景気が上向きの業界もあり、この先戻ることのない業界としてはうらやましく思えたとのこと。
	都市型ホテル	新型コロナウイルスを理由にイベントなど人が集まる事を自粛する動きが強く、付き合いのある企業の方からは厳しい状況だと聞いている。イベントができないと色々と収益を上げる事ができず困っていると聞いた。また、収束まではまだ先と聞いているが、我々観光業も厳しい状況が続いている。
	都市型ホテル	真面目に働く人達は感染対策がしっかりしていると思う。しかし、新型コロナウイルスは軽傷で済む、大した病気ではないと思っている人が意外と多いことには驚く。マスクもせず大声でしゃべりながら酒を飲んでる人達が当たり前のようにいる。先行きがとても不安である。
	タクシー運転手	市町村で独自の新型コロナウイルスの経済対策として、補助金付きのチケットを発行しているが、必要以上の使用状況とは思えない。
	タクシー会社	友人と会う際も2月～10月は怖くて会えなかったが、10月、11月で出かけられるようになった。しかし、12月にはまた外を出歩けなくなった。
	サービスエリア	商品の納品に関し、納品先の倒産、規模縮小等により販売計画に支障をきたすことが度々みられる。
	ゴルフ場	ゴルフ場は3密を避ける対策を講じやすいが、やはり今後もコロナ禍の蔓延状況に左右されやすいと思われる。
	ゴルフ場	かつて我々自身が経験したことのない病気により、当たり前の生活を全員ができなくなるような状況にあり、毎日必ず感染者数がニュースで報道される。落ち着いたかと思えば、急に拡大するこんな状態がいつまで続き、いつ終わるのかとても不安だ。
	テーマパーク職員	GoToの影響もあるが、屋外施設、アウトドア施設への世の中の注目が集まっている。今まで余暇活動にアウトドアを選ばなかったような方が、余暇活動に選択肢の一つとしてシフトしてきている傾向を感じる。コロナ禍で遊べる場所が少なくなり、アウトドアというジャンルに出費することへの躊躇いがなくなっているようにも感じる。当施設のような場所は、景気は良くなっていくのではと感じる。
	ボウリング場	県の自粛要請が客足に大きな影響を与えている。予定通り13日に解除されるのか心配である。
	理・美容店	もう飲食、観光、エンタメ系は厳しいだろう。その関係の人は、もうどうしようもないと言っている。
理・美容店	不要な出費（ファッション関係）を控えている人がいる。	

企業	農業関係者	人とのコミュニケーションが極端に減少した。
	製造業（窯業・土石製品）	建設関係は良いらしい。
	製造業（印刷・同関連業）	新型コロナウイルスの感染がより身近に迫ってきている感じがする。消費や設備等 に向けた投資意欲が減衰している感じがする。
	製造業（窯業・土石製品）	飲食業、サービス業の景気低迷が目につく。
	製造業（窯業・土石製品）	外出の自粛等により商業施設や飲食関係で人の動きが少なくなっている。
	製造業（非鉄金属）	受注状況はほぼ100パーセント回復している。
	建設業	土浦花火大会が中止になり、工事をもらっている関連業者は困っていることだろう と思っていたが、皆それなりに忙しく仕事をしているという。持続化給付金をもら えたこともあるのだろうが、飲食店や旅行者と違って小規模建設業者には新型コ ロナウイルスの影響もあまり関係ないようである。
金融業	土浦市桜町で接待を伴う飲食店で発生した新型コロナウイルスの集団感染により、 桜町で店舗を構える酒類を提供する飲食店は特に厳しい業況である。	
雇用	求人広告	求職者数は増加しているものの、一方で、全体的に採用難の状況は続いているよう に感じる。

(5) 県西地域

分野	業種・職種	その他の意見
家計	商店街代表者	GoTo云々と騒がれているが、商店全ての業種が悲鳴を上げている。旅行関係、食品関係以外の洋服、洋品店等も苦境に立たされている。「持続化給付金」の第2回、第3回と国や県の支援を要求する。
	商店街代表者	毎年12月にはボーナスで「あれ買った、これ買った」と景気の良い話が聞かれるが今年は聞かない。若い方は高価なマスクを購入している方が多くて驚いた。
	スーパー	外出自粛、買物回数を控えて、まとめ買い需要がある。しかし、まとめ買いと最低限必要な物のみで、販売点数は下がっている。
	スーパー	新型コロナウイルスの感染について、気にする人が多くなっている。特に、人との接触を控えている様子。
	コンビニエンスストア	新型コロナウイルスの影響で夜の時間帯が少ない。客数は減っているが、単価が上がっているのがトントンである。
	コンビニエンスストア	新型コロナウイルスの感染者が増えてはいるものの、土日については主要道路の交通量が多く、高速道路においては夕方渋滞が発生しているため、慣れや我慢の限界を迎えた人が行動を活発化させていると思われる。小売業、サービス業においてはプラスの要件と捉えている。
	家電販売店	加湿器、除菌関連商品が新型コロナウイルス第1波のときのように欠品している。
	農産物直売所	お得感があるプレミアム商品券を使う方が多い。
	メガネ・時計販売店	4月、5月の緊急事態宣言の時よりは客の動きは見られる。
	製茶販売	新型コロナウイルスを騒ぎ始めた当初と買物の仕方が変わったと思う。まとめ買いをする人が減った。当方でも新型コロナウイルスにかかる方が出ているのにまとめ買いしないということは、やはり財布が厳しいのではないだろうか。
	レストラン	今日のニュースでも新型コロナウイルスがヨーロッパで出ているし、北海道の空港では中国人や韓国人が入国し始めているので、新型コロナウイルスは終息しないと思う。ますます景気は悪くなると思う。
	日本料理店	忘新年会はもちろんのこと、歓送迎会もなくなりそうなので厳しい営業が続くと思われる。
	食堂	少人数、短時間で来店される客が増えたように思える。
	旅行会社	休日だというのに家で過ごす人が増えている。
	旅行代理店	企業が生き残るにはどうするか、どの会社も探していると思う。変えなければ存続できない。何か変わらねば、変えなければならない。まずは、明るく楽しく元気に新しい試みを実施していきたい。同じような仕事はできないし、変化しなければ遅れてしまう。
	タクシー運転手	最近、居酒屋に無線配車で迎えに行ったところ、代行もきており、ちょっと立ち話をした。そこで代行の人に「ちょっと人手が足りないのでタクシーやめて代行やる気ありませんか」と真顔で勧誘され、タクシーは夜は閑古鳥が鳴いているのに、そんなに忙しいのかと思った瞬間だった。
	タクシー運転手	飲食店をやめているところが多い。人がほとんど歩いていない。また、買物客がいない。
	商店街代表者	インターネットによるショッピングや巣ごもり消費・テレワーク関連商品、感染防止対策のための空気清浄機などは、概ね好調。GoToトラベルや地域共通クーポン、GoToイートのキャンペーンも結局、新型コロナウイルスの波が収束に向かわない中では、一部の消費者の利用に留まりそうである。
	クリーニング店	今年一年は「新型コロナウイルス」一色だった。
	設計事務所	公共工事は新型コロナウイルスの影響を感じさせない。
設計事務所	現段階で企画話がある業種と、そうでない業種と2分されている。	

企業	製造業（窯業・土石製品）	新型コロナウイルスにより見通しが難しく、受注が新型コロナウイルスの影響が出る前までに戻ることは難しいかと思われる。インフルエンザと同じ扱いになるまでは厳しい状況が続くそうである。
	製造業（非鉄金属）	人員不足のために募集を掛けているが人材が見つからない。失業保険を最大限利用しているのだろうか。
	製造業（窯業・土石製品）	新型コロナウイルスの影響で、病院の経営が今までのように維持できない、給料やボーナスを減額せざるを得ないからと茨城の私立病院でクラウドファンディングを利用して支援を仰いで資金の集金をしているが、他の様々な業種は病院以上に苦しんでいるのが現状なのに、このような支援を求めたくてもできない。私立病院の医療関係者の給与待遇はトップクラスだっただろう。この騒動以前は今まで最高の利益を出したのだから、我々と同様に医療機関の経営者も自助努力をすべきである。医療は金儲けや算術ではなく、仁術だとぜひ心してほしいと切に願って、心が痛む。医療関係者だけが特別ではない。
	製造業（金属製品）	新型コロナウイルスの不安が払拭されない限り、企画や計画は考えにくい。
	建設業	民間企業と民間からの見積りが少し増えている。
	金融業	大打撃を受けている飲食業界ではあるが、比較的若年層が多く利用するラーメン店などは回復している。一方、中高年層の利用頻度が高い割烹料理店などは厳しさが増している。また、相変わらず各地域の会合等は自粛され、ほぼないに等しい。
	不動産業	売買物件で低価格の物件を掲載したところ問合せが殺到し、すぐに契約に至った。高額物件は問合せ等は少ない。
雇用	求人広告	野菜や米、魚の値段が下がっている。ニュースを見ると、一次生産者が苦戦していると聞くが、身の回りにもその影響が出てきた。
	人材派遣業	季節繁忙の採用量は企業ごとに差はあるが、全体的に見ると昨年とあまり変わらない印象。
	学校就業関係者	新型コロナウイルス感染予防の対策（消毒・マスクをしていれば安心という考え）に戸惑いを感じる。
	求人開拓員	新型コロナウイルスの第3波で感染者数が増加している状況（12月中旬）の中、求職者の動きが鈍くなっているように感じる。